

公益財団法人とよなか国際交流協会

2019(令和元)年度事業報告について

I. 事業報告 総論

【1.はじめに】

2018年12月、出入国管理及び難民認定法が改定され、2019年4月に施行されました。外国人が就労できる業種と期間が限定され、受入れ人数の上限も定められてはいるものの、日本社会は外国人労働者の受入れ拡大に大きく舵を切りました。それに伴い、様々な場面、分野で外国人受入れ体制の整備や多文化共生社会の構築の重要性が言われるようになりました。

もう一つ、大きな変化があります。2020年に入ってから、日本でも新型コロナウイルスの感染が広がり、地域での様々な活動は大きく制約を受けました。状況が大きく変わり、発想の転換が求められる中、オンライン等を中心とした新たなつながり方の模索が始まっています。グローバル化により人の動きが大きくなる中、つながり方が大きく変化していくことが予想されます。

公益財団法人とよなか国際交流協会(以下、協会)は、「市民の主體的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる」を基本理念としています。1993年の設立以来、とよなか国際交流センター(以下、センター)を拠点として、外国人市民の自立や社会参加に向けた総合的な外国人支援と多様な文化が認められる「場づくり」や差異ある人々との共生のために行動できる「ひとづくり」を推進してきました。

ただ、ここまでの道のりは平坦ではありませんでした。特に2010年以降はセンターの移転(2010年度)、指定管理者制度の本格実施(2011年度)、公益法人への移行(2012年度)、20周年(ハタチ)記念事業及び指定管理者中間第三者評価(2013年度)、大阪府公益立入調査(2014年度)、第三期指定管理者応募(2015年度)、25周年記念本の出版、指定管理者中間第三者評価及び大阪府公益立入調査(2018年度)など、大阪府北部地震(2018年度)、西日本豪雨(2018年度)、台風21号(2018年度)など、様々な課題を乗り越えてきました。そして、まさに今、新型コロナウイルスの感染拡大の中で、どのように多文化共生のまちづくりを進めるかという課題に向き合っています。

これまで様々な課題を乗り越えるために、職員・市民ボランティア・協会役員それぞれが持てる力を出し合い、より活力ある協会運営を目指してきました。特にここ数年は、役員・事務局が一体となって協会の安定したガバナンスの更なる確立及び事務局機能の強化、市民とのつながりの強化を行い、それらを基盤として「アウトリーチで地域とつながって歩む」、「ネットワークで確かな支援の輪を」、「次世代と共に持続可能な共生社会へ」、「相談事業とコミュニティ支援」といった方向性の下、精力的な事業展開を行ってきました。そして、豊中における国際交流と多文化共生推進の拠点としてハブ的役割を担えるよう努めてきました。

2019年度は当協会が設立25周年だったことを踏まえ、これまでの取組を振り返り、今後について展望するため、「外国人と共生する地域づくり 大阪・豊中の実践から見えてきたもの」を出版し、出版記念シンポジウムを開催しました。また、多言語相談サービスに寄せられた「勝手に離婚されたけど、どうしたらいいか」という相談を元に、その対応方法を「無断離婚対応マニュアル—外国人支援のための実務と課題—」にまとめ、さらに出版記念シンポジウムを開催しました。

改めて、これまでの経験、持っているネットワークや資源を活用し、柔軟な発想で多文化共生のまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。

*2019年度は、センターの第三期(2016~2020年度)指定管理者期間の4年目でした。

【2. アウトリーチで地域とつながって歩む】

協会の取組をより広く伝えるため、年次報告書「こくりゅう@home 2018」を作成し、各所に配布しました。また、市の会議等の機会をとりえて国流の取組みについて説明を行ってきました。特に豊中市社会福祉協議会が実施する「地域福祉ネットワーク会議(全 7 地域)」、市の保健師学会、豊中市民生・児童委員協議会等の場に出向き、福祉の担い手の方々への情報提供を行いました。

しょうない REK とは協働で「外国人のための多言語進路説明会」を開催しました(庄内公民館)。

地域で開催された防災訓練にブース出展や多言語対応の協力を行いました。

さらに1月には、地域や関係者とのつながりをより確かなものにするため、第4回の「新春のつどい」を開催しました。センター・協会事業の紹介のほか、関係者間の交流を行いました。センター・協会事業の関係者以外にも市役所職員や議員(市議会、府議会、国会)、駐日領事らの参加、近隣の事業者の協力がありました。

こういったアウトリーチを通じて、豊中市内の様々な地域で活躍する人々や団体とセンター以外での取り組みを進めたり、協会・センターの知名度を一層高めることができました。

【3. ネットワークでより確かな支援の輪を】

センターの登録グループ(24 団体)との連絡会議を年4回開催し、「とよなか国際交流フェスタ 2019」を実行委員会形式で開催しました。

地域の間接支援団体(5 団体)とは情報交換、効果的な情報発信を行うため、継続的に壁新聞の作成を行っています。特に豊中市スポーツ振興事業団とは 2016 年度から引き続き「サムライプロジェクト」として、外国人向け日本の武道体験(空手)を実施しました(※居合道、合気道は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)。

また、府内で活動する国際交流協会と行政担当とのネットワーク「国際交流ネットワークおおさか」では、月 1 回程度の頻度で会議を持ち、さらに研修会、シンポジウムを開催しました。

さらに、ESD とよなか連絡会議では参加団体と共に、施設間スランプリヤやちゃんぷる屋台村など、市民と市民活動が、市民活動同士がつながる取り組みを進めました。引き続き、関係機関との連携を深め、体制づくりを進めます。

府内で活動する外国にルーツをもつ子ども・若者の支援に携わっている団体とは、子どもの夢応援ネットワークで定期的な情報交換などを行っていますが、協働でシンポジウム「ともに生きるシンポ～多民族社会「日本」のこれから part 3～」を実施しました。

その他にも多様な団体との協働や連携によって、当協会が単独ではできない活動や支援を展開し、ネットワークでより確かな支援の輪を広げています。

【4. 次世代育成を通じて持続可能な共生社会へ】

現在の日本社会の大きな課題として子ども・若者の課題があります。ニートやひきこもり、そして浮遊する若者の課題は、外国にルーツをもち日本で暮らす若者も例外ではありません。2013 年度から実施している若者支援事業をとおして、次世代を担うべき若者を事業につなげ、社会への参加・参画を図ることは重要な社会的課題であり、持続可能な社会を展望する上で欠かせない取組であると認識し、多くの力量を割いて事業展開をしてきました。共に生きるが故の苦悩や喜びを持つ外国ルーツの若者に、同じ背景をもつ外国にルーツをもつ若者に会い癒され、元気を取り戻すエンパワメントの場を提供しています。この事業は、持続可能な協会&センターの安定した運営にも深くつながると同時に、地域社会を支える貴重な財産となり、多文化共生社会の創生の礎になると確信しています。2019 年度も引き続き、「子ども・若者」という大枠で子ども事業(サンプルイス、子ども母語)、若者支援事業を実施してきました。

2016 年度からスタートした学習支援事業「学楽多(がらくた)」はとよなか国際交流センター及びしょうないガダバで実施していますが、豊かな学びの場として参加者が大きく伸びた一年でした。また、事業内容の充実、参加者間の交流の促進を図りました。

次年度も引き続き、関係各機関の助成金や市の委託、関係機関とのネットワークを通して、次世代育成を通じた持続可能な共生社会づくりに取り組めます。

【5. 相談事業とコミュニティ支援】

相談事業では、勝手に離婚され、本人も子どもも大きく人生をくるわされるという相談事例が頻発していることを問題視し、「リコン・アラート(協議離婚問題研究会。事務局は当協会)」では関係機関・団体と連携して協議離婚制度に関する問題点について、情報提供を行ったり、啓発動画やパンフレット、ホームページを作成し、公開してきました。その成果として10月に「無断離婚対応マニュアル—外国人支援のための実務と課題—」を出版し、その記念シンポジウムを開催しました。また、3月には離婚に関する一日電話相談会を実施しました。

相談事業では他にも、多言語スタッフを中心にコミュニティ作りや日頃の相談対応から感じる課題の解決を目指して外国人向け講座やイベントを企画し、実施しました。特に10月に実施したInternational Potluck Partyは外国人コミュニティ間のつながりを作り出すことにつながりました。

また、「Filipino Young at Heart's Club」では月1回のコミュニティ活動のほか、ピノイフェスタ(5月)、クリスマスパーティ(12月)などを実施し、新たな参加者の拡大も図りました。

外国人の孤立を防ぎ、地域社会の一員として安心して暮らせるよう、また防災などの観点からも情報から漏れる人が出ないように、今後も相談事業の一環としてコミュニティ支援を進めていきます。

【6. センター利用者とボランティア】

センターを利用した人は、CCスペース等を含めて年間76,356人(昨年と比べ9,592人減)、うち外国人(注)利用者は32,722人で全体の約43%を占めています。新型コロナウイルスの感染拡大等の影響もあり、年間のセンター利用者、貸室の件数とも減少しました。一方で、利用者数における外国人利用者の割合は、約43%であり、豊中市の外国人割合(国籍では約1.5%)と併せて考えると、外国人が積極的に利用している施設であり、目的公共施設としての役割を大きく果たしていることが分かります。詳しい事業ごとの数字は事業実績詳細の通りですが、おとな国際事業、子どもサポート事業や多文化子どもエンパワメント事業は、その内容や実施形態も多様なニーズに沿って実施されており、バラエティに富んでいます。今後はさらに多くの市民が足を運びやすいセンター、参加しやすいセンターを実現するため、ホームページ等を通じた情報発信、施設訪問者に対する掲示物等での情報発信を工夫します。

なお、2月下旬には各事業の担当の市民ボランティアの皆さんとともに事業評価会(全29事業)を行いました。現在の課題や今後の事業展開につながる意見が出されました。多くの市民が多様な活動を支えており、それぞれの事業が相互関係にあることが改めて確認されました。

【7. 国際交流と多文化共生のハブ的役割として】

以上、見てきたように、協会はアウトリーチやネットワークづくり、若者支援事業を重視しながら人権尊重を基調とした外国人の総合的支援と多文化共生社会推進を担ってきました。今後も「多様な文化や人が尊重される豊かで魅力あるまちづくり」の実現のために、より広範な支援活動と地域貢献活動を展開していきます。地域で長年活躍してこられた市民活動団体や市民の皆さんと共に、『チームとよなか』の一員として、国際交流と多文化共生のハブ的役割を担っていきます。

⑨協会では国籍だけでなく、外国にルーツを持つ人びとも含めて「外国人」と認識しています。

II. 事業概要

II-1 事業内容

市民の主体的な参加による人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出するため、次の事業を行った。

II-2 内容の詳細

I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

1. 市民主体の国際交流活動推進事業

(1) 情報サービス事業

趣 旨： 市民の国際交流活動が推進される環境整備をする。

内 容： 協会やセンターからのお知らせの発行(日本語及び多言語)、新聞・書籍・雑誌などの閲覧提供、コミュニケーションボードの設置、ウェブサイト・フェイスブックなどの SNS・メール配信システム等を利用した情報発信、無料インターネット利用サービスなどを提供した。

対 象： 国際交流に関心を持つ一般市民

主 な 実 績： とよなか国際交流センターのウェブサイト運営。多言語ニュースレターの毎月発行ならびに E メールでの配信、ホームページでの情報提供(日本語及び多言語)、フェイスブックでの発信、協会事業のメディアへの掲載、外国語図書ならびに民族衣装や教材貸出 他

(2) 市民活動協働事業

趣 旨： 市民の国際交流活動が推進される環境整備をする。

内 容： 市民団体の活動支援のため、とよなか国際交流センター登録団体による連絡会を開催し、さらに実行委員形式で市民とともにとよなか国際交流フェスタを開催した。また、市民個人及び団体に対して随時相談に対応したほか、市民団体と事業を共催、また団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。また、福祉、男女共同参画、環境、スポーツ、市民活動、国際交流の分野に取り組む 6 団体で編集して壁新聞を発行し、中間支援組織間の連携を引き続き図った。その他、「しょうない REK」実行委員会や国際交流ネットワークおおさかへの参加など地域の他団体・広域の関連団体との協働を進め、国際の視点に立った取り組みを行った。

対 象： 国際交流に関心を持つ一般市民および団体

主 な 実 績： 壁新聞の発行、しょうない REK 実行委員会への参加、市民団体の運営協力、市民団体・個人からの相談対応、「とよなか国際交流フェスタ」の開催(参加者のべ 3,700 人)

(3) 留学生ホストファミリー事業

趣 旨： 市民の国際交流活動が推進される環境整備をする。

内 容： 近隣の大学と日本学生支援機構大阪日本語教育センターの留学生とホームビジットの形で 1 年間の交流をマッチングを行った。また、ホストファミリーが参加できる催事を企画したり、対象者にニュースレターを発行したりした。

対 象：国際交流に関心を持つ一般市民

主 な 実 績：ボランティア登録計 126 家族、留学生と 88 組のマッチング、交流会の実施(年 3 回、参加者総数 231 人)

2. おとな国際事業

(1)にほんご活動事業

趣 旨：外国人市民と日本人市民の出会いや交流、双方の関係が結べる機会を提供する。

内 容：日本人や外国人の参加者のニーズに合わせた多様な日本語交流活動を行った。

形 態：①もっともつつかえるにほんご、とよなかにほんご・木ひる、とよなかにほんご・金あき、にちようがちやがちやだん、千里にほんご

※ 希望する外国人と研修を受けた日本人による日本語交流活動

②おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

※ 希望する外国人女性と研修を受けた子育て中の日本人女性による日本語交流活動

対 象：日本語交流活動への参加を希望する日本人及び外国人

主 な 実 績：①にほんご活動 実施回数 のべ 187 回、参加者のべ 7,145 人(うち外国人 3,420 人)

②おやこでにほんご 実施回数 のべ 80 回、参加者のべ 1,000 人(うち外国人 337 人)

(2)多文化共生推進事業

趣 旨：多文化共生のまちづくりを実現するために、市民が参加しやすい様々な学びの場を提供する。

内 容：世界の文化について様々な切り口で学ぶセミナーやワークショップの開催、また、地域の外国人が必要な地域情報にアクセスできるよう通訳を養成して派遣を行う。

対 象：多文化共生の取り組みに関心のある日本人・外国人

主 な 実 績：「世界を食べよう」(1 回) 参加者のべ 13 人(うち外国人 2 人)、多文化・多言語セミナーとして「アリラン峠を越えていく～在日コリアン音楽の今」(1 回)参加者 100 人、コミュニティ通訳派遣(3 件)、外国人のための茶道教室(1 回)参加者 15 人(うち外国人 6 人)、国流シネマカフェ(4 回)参加者のべ 90 人(うち外国人 20 人)、武道体験(1 回)参加者のべ 7 人(うち外国人 1 人)等

3. 持続可能な地域づくり事業

(1)メディア・リテラシー市民ゼミナール

(2)持続可能な開発のための教育(ESD)・防災・地域貢献

趣 旨：国際化や情報化が進む中、民主的な社会づくりに不可欠な知識・理念・技能を学ぶ機会を提供する。その学びに基づいた行動が地域でできるよう行政や各機関との連携・協働を促す。

内 容：①メディア・リテラシー市民ゼミナールでクリティカルな視点を学べる機会を提供した。

②持続可能な開発のための教育(ESD)事業について、ESD とよなか連絡会議に参加し、関係団体との地域課題の共有を行い、関係団体の連携について検討を重ねた。また、地域における幼小中高や教職員を対象とした国際理解教育の現場に講師を派遣したほか、地域の人たちの外国人の問題や国際理解・多文化共生等に関する相談を随時受けてきた。また、昨年度に引き

続き、地域の介護事業所と連携して、EPA 介護福祉士候補者のための日本語指導を協会にほんごボランティアの協力を得て実施している。

対 象：外国人及び一般市民

主 な 実 績：①メディア・リテラシー講座の開催(年1回)参加者5人(うち外国人3人)
②ESDとよなか連絡会議への参加。講師派遣 年間のべ55件、73人 他

4. 持続可能な人づくり事業

(1) ボランティア研修事業

趣 旨：国際交流活動の担い手育成のため、ボランティア養成やボランティア研修を実施する。

内 容：①日本語ボランティア養成講座ならびに多文化子育て支援ボランティアを、現行ボランティアと新たにボランティアを希望する人を対象に実施した。また、新規日本語ボランティア及び現行ボランティアが日本語交流活動についてより学びを深めるため、養成講座の中で現役ボランティアが講師として登壇したり、交流会形式で新規ボランティアとの意見交換も行った。
②哲学カフェを実施し、市民の学び合いの場や自由に討論していくスキルを身に付けるための参加と対話の場などを提供した。
③一般市民向けに外国人の状況や当協会の活動を周知する場として「来てナットク！まるわかりセミナー～多文化共生編」を開催。
④(一財)とよなか男女共同参画推進財団との共催で、公開シンポジウム「人生100年時代、誰とどう生きますか～外国人×介護労働×地域×家族」を開催。
⑤ボランティア及び一般市民を対象に、学びほぐしシリーズ「あたりまえ」に対抗する“ぼづくり・ひとづくり”実践者セミナーを手話通訳付きで開催した。

対 象：国際交流活動ボランティア、一般市民

主 な 実 績：①日本語ボランティア養成講座の実施(全6回、参加者のべ165人)、千里にほんごボランティア養成講座(全2回、参加者7人。ただし、1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年度に延期)、多文化子育て支援ボランティア養成講座の実施(4回、参加者のべ90人)
②哲学カフェの実施(全3回、参加者のべ14人。ただし、1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
③来てナットク！まるわかりセミナー多文化共生編(1回、参加者36人)
④「人生100年時代、誰とどう生きますか～外国人×介護労働×地域×家族」を開催(※上記①の内の公開講座として実施。1回、参加者58人)
⑤学びほぐしシリーズ「あたりまえ」に対抗する“ぼづくり・ひとづくり”実践者セミナー『こんな夜更けにバナナかよ』から問い直す支援一被支援の関係性(1回、参加者67人)

5. 子ども国際事業

(1) おまつり地球一周クラブ

趣 旨：次世代の担い手である子どもたちが日本や世界の様々な文化を体験して学ぶことのできるような異文化理解・国際理解の機会を提供する。

内 容：2か月に1回ほど、地域に暮らす様々な人の協力のもと、国際理解を促す体験活動「おまつり地球一周クラブ」を実施した。

対 象：小・中学生とその保護者

主 な 実 績：「おまつり地球一周クラブ」計5回実施、参加者のべ95人。

(2)韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

趣 旨：韓国・朝鮮につながるのある子どもたちが、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びなどについて学び、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設ける。

内 容：月 1 回「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」を実施し、民族講師から民族文化や遊びについて学べる機会を提供した。

対 象：韓国・朝鮮につながるのある小学生、中学生

主 な 実 績：「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」の実施(計 12 回[※ミーティング含む]、参加者のべ 231 人うち外国人 124 人)に加え、小学生のハギハッキョ、ハギハッキョキャンプを実施。

II. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

1. おとなサポート事業

(1)相談サービス

趣 旨：在住外国人が抱える課題を解決するために相談サービスを行う。また、相談スタッフが中心となって、地域に住む外国人が自国文化を発表する機会の創出を行い、エンパワメントを図る。

内 容：外国人のための一般生活相談及び外国人女性専用電話相談を相談サービス事業として実施した。対応言語は日本語、中国語、韓国・朝鮮語、英語、フィリピン語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語。相談に対応するために①多言語スタッフ、②就労相談にも対応でき、多言語スタッフをまとめるコーディネーター、③相談対応全体のコーディネーター及び外国人相談を受けられる女性相談カウンセラーを配置している。別途必要な通訳や翻訳作業も行っている。今年度も外国人が日本人配偶者に「勝手に離婚される」問題を受けて、「リコン・アラート(協議離婚問題研究会)」を他機関と協働して運営し、支援者向け冊子「無断離婚対応マニュアル」を刊行するなど、外国人当事者向けの情報発信に加えて、外国人が抱える課題を広く社会に提起する取組みも継続して実施した。

対 象：外国人及び一般市民

主 な 実 績：①相談受付件数 952 件(臨時通訳 32 件)

②機関連携によって、より専門的な対応を行った。

③リコン・アラート(協議離婚問題研究会)を通じた啓発活動、一日離婚電話相談ホットラインの開催、支援者向け実務書「無断離婚対応マニュアル」(日本加除出版)の出版等。

(2)コミュニティ活動

趣 旨：地域に暮らす外国人のエンパワメントにつながるグループワークの展開、また自助グループの活動の側面支援を行う。

内 容：昨年度に引き続き、今後急速に高齢化を迎えるフィリピン人向けの居場所づくり「Filipino Young at Heart's Club(FYAHC)」を定期的実施したほか、ベトナム人市民による自主的なコミュニティ活動の支援を行った。

対 象：外国人

主 な 実 績: Filipino Young at Heart's Club (8回。ただし、1回はコロナウイルス感染症拡大予防のため中止)参加者のべ166人
ベトナム人コミュニティの集い(卓球など)(42回)参加者のべ410人

(3)防災事業

趣 旨: 大規模災害時における外国人支援の仕組みを市や関係団体と共に構築し、災害時もふまえた安心・安全なまちづくりのための体制づくりならびにその啓発を行う。

内 容: 台風接近時などに多言語で情報発信を行ったほか、2016年度に豊中市と締結した「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」、大阪大学大学院国際公共政策研究科と締結した「外国人への多言語での情報提供に関する協定」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、災害時多言語支援センターを設置した。このほか、地域の防災訓練への参加、大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議への参加等を行った。

対 象: 職員、外国人

主 な 実 績: 災害時多言語支援センターによる情報発信等

2.こどもサポート事業

(1)多文化子ども保育“にこにこ”

趣 旨: 「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として差別を受けることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

内 容: 親の日本語学習と同時間帯に「多文化子ども保育“にこにこ”」を実施し、孤立しがちな外国人家庭の子どもが多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会性を身に付ける機会を提供した。

対 象: 外国にルーツを持つ子ども

主 な 実 績: 「多文化子ども保育“にこにこ”」のべ83回実施、ボランティアのべ299人、子どもの参加のべ412人(うち外国人412人)

(2)子ども母語教室

趣 旨: 「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として差別を受けることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

内 容: 子どもや親のニーズに合わせて中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語の「子ども母語教室」を実施し、外国にルーツを持つ子どもたちが母語でコミュニケーションが取れるように支援をするとともに、子ども同士の仲間づくりを促進させた。

対 象: 外国にルーツを持つ子ども

主 な 実 績: 子ども母語教室(中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語)4教室合わせてのべ43回実施、参加者のべ168人(うち外国人152人)、4言語合同イベントならびにサンプルイストと合同イベントの実施(計4回、参加者のべ50人)

(3)学習支援・サンプレイス

- 趣 旨：「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として差別を受けないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。
- 内 容：外国にルーツを持つ小学生、中学生、高校生への日本語・学習支援を通じた居場所づくり「サンプレイス」を行った。子どものニーズに沿ってボランティアが宿題、日本語、教科の勉強、表現活動などに対応し、子どもたちやボランティアのつながりを深めるための行事や学びの場、企画事業なども行ったほか、子どもの相談にも随時対応した。
- 対 象：外国にルーツを持つ子ども
- 主 な 実 績：サンプレイス のべ33回実施、参加者のべ267人(うち外国人189人)、行事の開催(計5回、参加者のべ46人)

Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

1. 小学校外国語体験活動事業

- 趣 旨：市内の小学生が異なる文化を持つ人の存在を通して国際理解や共生していく姿勢を育むとともに、外国語を使用してコミュニケーションを図る積極的な態度を身に付ける機会を提供する。
- 内 容：豊中市教育委員会との協働で豊中市立小学校の3年生から6年生に外国語体験事業を実施した。体験活動を実施できる外国人ボランティアを配置し、事業を運営した。
- 対 象：豊中市立全小学校、3年生から6年生の児童
- 主 な 実 績：コーディネーター5人、ボランティア登録数53人(20か国・地域)、実施時間総数1,133時間、体験子ども数のべ37,400人

2. 国際教育推進事業

- 趣 旨：豊中市で行ってきた様々な「国際」に関する取組を総合的につなげるシステムを作り出すために、教育資源を共有財産にする学び合い、調査・研究を実施する。
- 内 容：豊中市国際教育推進連絡会に参加し、情報交換、意見交換を進めた。多文化フェスティバルを豊中市教育委員会協力のもと開催した。帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会に構成団体として参加し、「多言語による進路ガイダンス」を開催した。
- 対 象：豊中市教育委員会及び豊中市立小中学校
- 主 な 実 績：豊中市国際教育推進連絡会への参加。「多文化フェスティバル」の開催(年1回、参加者150人)、「多言語による進路ガイダンス」の開催(年1回、参加者93人)

3. 多文化子どもエンパワメント事業

(1)とよなか子ども日本語教室

- 趣 旨：豊中市に在住する、在日コリアン、帰国、渡日といった背景をもつ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

内 容：学習のための日本語支援が必要な子どもの指導者育成と教室運営の実績をまとめた冊子作成に向けた編集会議、教案集の出版を記念したシンポジウムの開催、新たな活動開始に向けたミーティングを実施した。

対 象：外国にルーツを持つ子ども・若者

主 な 実 績：まとめた冊子作成に向けた編集会議(9月21日、参加者10人)
まとめた冊子の編集作業(2020年8月発行予定)
教案集出版記念シンポジウムの開催(とよなかJSLとの共催)(11月10日、参加者51人)
新規活動開始に向けたミーティング(1月28日、参加者6人)

(2)若者支援 (独立行政法人福祉医療機構【平成31年度社会福祉振興助成事業】)

趣 旨：豊中市に在住する在日コリアン、帰国、渡日といった背景を持つ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

内 容：外国にルーツを持つ「若者世代」を対象に日本語サポートや日本語活動を実施して生活の支援を行った。また、今後の人材の養成のためのボランティア・コーディネーター研修も実施した。

対 象：外国にルーツを持つ子ども・若者

主 な 実 績：①地域にコミット！若者お祭りクラブ
[準備会]2回(参加者のべ9人)、[イベント参加]2回(参加者のべ50人)
②地域でつくる進路のための日本語の学習とサポート
年32回(参加者のべ76人、うち外国人44人)
③外国にルーツを持つ若者の居場所事業&相談事業
年32回(参加者のべ134人、うち外国人94人)
④若者スタッフ研修
年44回(参加者のべ138人、うち外国人30人)

(3)てーげーコミュニケーションズ(多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト)

趣 旨：豊中市に在住する、在日コリアン、帰国、渡日といった背景を持つ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

内 容：2014年度に公益財団法人庭野平和財団からの助成を受けた事業を引き続き自主財源で実施し、「てーげーコミュニケーションズ(多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト)」として、外国につながる子ども・若者たちの出会いの場を創造するための映像作品を作成した。その映像作品の宣伝広報、販売促進を行った。

対 象：外国にルーツを持つ子ども・若者

主 な 実 績：「てーげーコミュニケーションズ(多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト)」映像作品の宣伝、広報、販売促進

(4)生活困窮者自立支援事業 子どもの学び場「学楽多」

趣 旨：教科学習にとどまらず、働くことや生きることにつながるような多様な学びの場、出会いの場を提供することで、子どもたちを支援する。

内 容：豊中市の委託(4年目)を受け、とよなか国際交流センターとしょうないガダバで学習支援を実施した。教科学習にとどまらず、工作や料理、多文化フェスティバルでのブース出店など、子どもたちが多様な人との出会い、多様な経験を通じて働くことや生きることについて考えられるようになり取り組んだ。

対 象：外国にルーツを持つ子どもを中心に、参加を希望する者

主 な 実 績: とよなか国際交流センター、しょうないガダバ合わせて計 88 回(子ども参加者のべ 962 人、うち外国人 149 人。ボランティア参加者のべ 301 人、うち外国人 89 人)

(5)ネットワーク事業への参加

趣 旨: 主に大阪府内で外国にルーツを持つ子どもの支援に携わっている機関、団体でネットワークを組み、一つの機関・団体では解決が難しい課題について意見や情報の交換、発信を行った。

内 容: シンポジウムの開催、研修会の講師などを引き受けた。

対 象: 外国にルーツを持つ子ども等、外国人の支援に携わっている機関・団体

主 な 実 績: 「ともに生きるシンポ～多民族社会日本 part3～」(年 1 回、参加者 52 人)

4. 施設管理受託事業

・とよなか国際交流センター貸室業務

趣 旨: とよなか国際交流センター貸室業務は定款にある目的を達成するための事業(国際交流の機会提供及び参加促進の事業、国際理解及び国際化に関する啓発・研修事業、国際交流に関する情報の収集及び提供事業、民間団体の国際交流活動に対する支援事業、国際協力に関する事業、在住外国人に対する支援事業など)を推進していく活動ならびに同様の国際交流を目的とする一般市民や利益目的でない一般利用者への貸室業務であり、貸室の利用料金に関する収入は全て豊中市に納付している。

内 容: とよなか国際交流センターの国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して、公平公正、安全に貸室業務を行った。さらに視察受入れや、豊中市が中学校を対象に実施する「地域体験学習 CUL(カル)」職場体験の受入れを行った。職員研修も通年で実施した。

対 象: 一般市民および施設利用者

主 な 実 績: ①年間貸室利用者数 53,991 人(昨年度比 6,914 人減)、うち外国人利用者数 23,332 人(昨年度比 3,813 人減)・視察受け入れ(計 15 件、合計 349 人)
②「地域職場体験学習 CUL(カル)」職場体験受入れ(計 2 校、のべ 6 人)
③「事業評価会」参加者 49 人
④職員研修(計 14 回)

Ⅲ. 2019年度事業実績詳細

I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

1. 市民主体の国際交流活動推進事業

(1) 情報サービス事業

◆ニュースレターの発行

日本語版と多言語版に分け発行した。情報発信を基本的なコンセプトに、以下について毎月掲載した。

- ① 協会のミッションとそれに基づく活動を伝えること
- ② 在住外国人に関する基礎的情報を提供すること
- ③ 地域で生活する外国人へ多言語での情報提供

日本語版は「とよなか国際交流センターおしらせ」として、内容はセンター事業を中心にした案内や報告を掲載した。さらに、これまでのような催しの予告・報告だけでなく、センターに集う人たちの「顔」が見えるコーナーとして、「Youは何しに国流へ？」等を新しく設けた。表紙のデザインは、地域の高校との連携推進の一環として、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校美術部の高校生ボランティアをお願いした。(日本語版:A4 判 4 ページ、フルカラー[120号~131号]各月1,500部/多言語版:A4版4ページ、赤黒2色刷、各月500部)

◆多言語メールニュースの配信

月1回(基本的に毎月第1金曜日)、メールニュース配信希望者には多言語ニュースレターの内容を8言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)でEメールにて配信した。(2020年3月時点のメールニュース配信数:312人)

◆書籍・新聞・雑誌・民族衣装、楽器等の閲覧及び貸出提供

雑誌の提供と収集事業。外国人向けの無料コミュニティ紙、多言語の新聞やチラシを配架するなど、言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行っている。2019年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多言語に翻訳した手洗い啓発ポスターや新たに設けた多言語Facebookページのポスターを館内等に掲示した。

また、半年毎に豊中市立図書館から多言語での書籍(約100冊)が団体貸出されるなど、図書館とも連携して図書の実用を図っている(2013年1月より継続して実施)。

館内に併設されている「地球市民ライブラリー」の蔵書については、図書ボランティアが図書の整理や書籍名簿の作成を行い、市民が利用しやすい環境を整えた。日本語能力試験等の検定試験受験を希望する外国人のためのサポート用のテキスト等も購入した。また、今年度は絵本や外国語の図書(絵本含む)を充実させた。

◆図書類(外国語図書(絵本)含む)

貸出		貸出件数(件)	増冊数		件数(件)
総数		116	総数		393
【内訳】	一般図書	21	【内訳】	一般図書	99
	外国語図書(絵本含む)	95		日本語学習関係	86
	<内>中国語	(45)		辞書類	2
	ネパール語	(28)		絵本(日本語)	72
	英語	(14)		資料	7
	韓国語	(3)		外国語図書(絵本含む)	110
	アラビア語	(3)		学習教材	17
	ベトナム語	(1)			
	タガログ語	(1)			

◆定期刊行物

内容	購入点数(単位:冊)	フリーペーパーなど(単位:誌)
定期刊行物	日本語新聞	2
	雑誌・機関紙等	1
	外国語新聞	1
		5
		4

◆民族楽器、民族衣装、民族教材

	民族衣装	民族楽器	民族教材	計
貸出(件数)	30	4	6	40
購入・寄付(件数)	38	2	4	44

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードでは、掲示期間を区切った上で、個人が自由に情報交換できるようにした。また、日本語ボランティア情報ボードも引き続き活用し、日本語交流活動で必要とされる情報を提供した。利用件数:56件。

◆ホームページ

協会のホームページを今年度からリニューアルして、多言語での情報発信ページを充実させ、さらに日本語ページの情報も拡充した。主催事業の到着情報等を随時更新するなどして、常に最新情報を届けるように心がけた(協会の年間ホームページ訪問者数 20,160 件、多言語での情報提供ページの訪問数は 1,441 件)。

◆SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

主に Facebook を利用し、日々の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などを継続して行った。吹田市で起こった警察官襲撃事件(6月)、台風19号(10月)、新型コロナウイルスの感染拡大状況・支援に関する情報(12月以降、現在まで)などについて、多言語による情報発信を行った。

特に新型コロナウイルス感染拡大を受け、多言語での情報発信をより一層充実させるため2月24日より言語別に Facebook ページを新たに設けた(英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ベトナム語の9言語)。

協会の Facebook ページのフォロワー数 1,450 人(昨年度より 355 人増)、「いいね!」数 1,318(昨年度より 298 増)。

◆プレスリリースの発行:メディア各社向けにプレスリリースを随時発行。

◆無料インターネット利用 : 268 件(うち外国人 28 件)

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し/内容
4月12日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	つながり紡いで「とよなか国際交流協会」
5月10日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	つながり紡いで「リコン・アラート」
6月7日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	つながり紡いで「外国ルーツの子向け教室『子ども母語』」
7月19日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	つながり紡いで「外国ルーツの子『第三の居場所』」
8月7日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	多文化共生の地域づくり「25年間の歩み 本に」
8月23日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	つながり紡いで「外国語体験活動」
8月24日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	府民夏季セミナー「知識共有し対話的学習へ」
9月27日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	つながり紡いで「日本語交流活動『木ひる』」
10月18日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	つながり紡いで「図書館とつくる親子の居場所」
11月22日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	つながり紡いで「若者の『たまりば』」

11月30日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	無断離婚→外国人支援は？「豊中でシンポ」
12月4日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	「配偶者勝手に離婚届け～外国人の相談相次ぐ」
12月8日	読売新聞	一方的国際離婚防ぎたい
12月13日	毎日新聞(大阪・兵庫版)	つながり紡いで『TIFA カフェサパナ』
12月19日	大阪日日新聞	「知らぬ間に離婚された」
12月27日	The Japan News	Activists take on consent-less divorce
1月31日	毎日新聞(大阪版)	つながり紡いで「災害時の外国人支援」
2月28日	毎日新聞(大阪版)	つながり紡いで「フィリピン出身中高年の居場所」
3月20日	毎日新聞(大阪版)	つながり紡いで「多文化共生の課題」

◆取材協力

- 11月28日 日本文教出版 大阪市社会科4年生副読本「私たちの大阪」(外国語体験活動、日本語交流活動)
- 12月12日 NHK 大阪放送局 ニュースほっと関西(リコン・アラートシンポジウム)
- 12月12日 豊中市広報戦略課(「広報とよなか」2月号 特集2 ひゅうまん通信 外国人とともに)
- 12月16日 福岡RKBラジオ(リコン・アラートシンポジウム)
- 1月22日 箕面市国際交流協会(月刊誌「めろん」4月号 外国語体験活動について)
- 2月13日 読売テレビ「かんさい情報ネット ten.」(「無断離婚」について)
- 3月18日 NHK 大阪放送局 (新型コロナウイルス感染拡大への対応 相談事業の強化について)

◆その他

- ・『日本における外国人・民族的マイノリティ人権白書』(2019)への寄稿「リコン・アラート」
- ・『多文化共生のためのシティズンシップ教育実践ハンドブック』(2020)への寄稿「子どもを支える ～とよなか国際交流協会の取り組み～」
- ・『特別支援教育の心理学(仮)』(萌文書院)への寄稿(2020年3月刊行予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、遅れ。)
- ・協会事業紹介パンフレットの作成(豊中市内の子ども園、小学校、中学校の全教職員に配布)

(2)市民活動協働事業

◆イベント「とよなか国際交流フェスタ」の開催

とよなか国際交流センター登録団体や事業ボランティアによる実行委員会形式で「とよなか国際交流フェスタ」を開催した。同フェスタはセンターで活動する登録団体の成果発表の機会ともした。

実施日時: 9月7日(土)10:00～16:00

場所: とよなか国際交流センター参加者数のべ3,700人

内容: とよなか国際交流センターの登録団体によるステージ発表やポスター発表(発表の使用したパネルは引き続き、館内に掲示)／市民グループによるバザー、世界の料理や飲み物の販売、子どもの遊びコーナー(スライム作り、世界の楽器体験、民族衣装体験、中国切り絵体験、)茶道体験、世界の風景撮影スポットなど

◆イベント「せかいのおばけやしき」の開催

例年8月にとよなか国際交流センターの貸室の利用率が下がり、来館者が減ることから、その時期に6階の全フロアを利用して「せかいのおばけやしき」を実施した(2018年度よりスタート)。

実施に当たっては、協会で開催している様々な事業に参加しているボランティア、地域の高校生や福祉団体の協力を得た。238名の参加があり、閑散期の施設の有効利用だけでなく、普段の活動や事業を超えた仲間たちとつながる場所を作ることができた。

◆市民活動共同デスク

2010年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、とよなか市民環境会議アジェンダ21との5団体で編集委員会を作り、『2011とよなか市民

活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中での市民活動のさらなる活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報の交換と発信を続けている。その後、(公財)豊中市スポーツ振興事業団、豊中市市民公益活動協議体らっぷが参加、市民活動ネットきずなの解散を経て現在の6団体となる。

2019年度は壁新聞の発行を見直すとともに、今後の活動内容について検討するワークショップを行った。今後も引き続き中間支援組織のゆるやかな情報共有ネットワークとして意見交換を継続する。

会議実施日	内 容 (場 所)
5月23日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
7月9日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
11月7日	共同デスクの在り方と今後について考えるワークショップ(すてっぷ)
1月23日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するため、地域で活動する国際交流をテーマとした市民団体・グループの運営に対する側面支援を以下の通り行った。

日付	取り組みの内容
通年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「日本語支援グループ・むすびめ」の運営支援及び就労を目指す外国人のための日本語サポート事業を協働で実施した。
通年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」というページを設置して周知をはかり、市民団体からの問合せに対して随時情報提供を行った。
5月12日 6月9日 7月28日 9月7日(当日)10月27日 3月15日(中止)	とよなか国際交流センター登録団体との連絡会議を4回行った(うち3回は国際交流フェスタ実行委員会も兼ねている)。フェスタに向け、実行委員会形式で検討、準備を重ね、地域の国際交流団体とともに考え創る「第4回とよなか国際交流フェスタ」を2019年9月7日(土)に開催することができた。なお、連絡会議のうち、3月15日分は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 2020年度も実行委員会形式により、「第5回とよなか国際交流フェスタ」(9月上旬～10月中旬)を行う方向で検討している。 市民団体の環境向上及び登録団体の活動の発信等に向け、市の広報誌において活動体験会の掲載を開始した。

◆しょうないREKへの協力

2005年、豊中市の「市民公益活動推進条例」に基づき、市と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうないREK」が立ち上げられた。(しょうないREKはRecycle[リサイクル]、Event[イベント]、Kawaraban:[かわら版]の頭文字を合わせた造語)。当協会としては、特に豊中市南部地域での関係機関・団体との連携を重点的に進めるため、実行委員会に定期参加し、イベントへの参加を行った。

●しょうないREK実行委員会

開催日	4月18日(欠席)、5月16日、6月20日、7月18日、9月19日、10月17日、11月21日(欠席)、12月19日、1月17日、2月20日、3月19日(欠席)(計11回、うち8回出席)
場 所	庄内図書館

●その他の取組

- ・ 外国人親子に向けた高校進学説明会@しょうない開催(庄内公民館)：7月13日
- ・ 「とよなか国際交流フェスタ」古本バザー(とよなか国際交流センター)：9月7日

◆国際交流ネットワークおおさか

大阪府内の国際交流協会及び自治体を中心となって、地域の国際化、国際交流、国際協力、多文化共生に関わる諸問題に協力して広域的に取り組んでいる。2019年度は定例の会議で情報交換を行ったほか、研修会、相談会、さらにシンポジウム「近畿発！今、あらためて”多文化共生”を問い直す part2」を開催した。

実施日	参加者数 (うち外国人)	開催場所	構成団体
4月5日	11(2)	大阪国際交流センター	【構成団体】 大阪府国際交流財団、大阪国際交流センター(アイハウス)、吹田市国際交流協会、とよなか国際交流協会、とんだばやし国際交流協会、箕面市国際交流協会 【オブザーバー】 大阪府国際課、和泉市人権・男女参画室、池田市人権・文化国際課、堺市国際課、NPO タブマネ
5月24日	7(1)	大阪国際交流センター	
6月14日	11(0)	大阪国際交流センター	
7月26日	7(0)	大阪国際交流センター	
9月13日	10(2)	大阪国際交流センター	
10月18日	8(1)	大阪国際交流センター	
12月19日	8(1)	大阪国際交流センター	
2月28日	5(0)	大阪国際交流センター	
合計	67(7)		

・研修会、シンポジウム等

実施日	参加者数 (うち外国人)	開催場所	内容
9月26日	23(8)	大阪国際交流センター	生活困窮者の支援と外国人(講師:大阪弁護士会) 外国人向け相談会(協力:大阪弁護士会) 外国人のための法律相談会(協力:大阪弁護士会) シンポジウム「今、あらためて多文化共生を問い直す part2～多文化共生の担い手について考える～」
10月19日	15(8)	池田市国際交流センター	
1月19日	8(5)	とんだばやし国際交流協会	
2月7日	37(5)	すてっぷホール	
合計	83(26)		

◆市民団体との連携及び運営支援

地域で活動する国際交流目的の市民団体の活動支援を随時実施した。

- ・とよなか国際交流センターの登録団体(24 団体)との連絡会議を4 回開催し、ニーズの把握を行った。
- ・団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。また、とよなか国際交流センターの登録団体について、活動体験会を企画し、その周知を市の広報誌で行うなどしている。さらに、市民団体の運営協力(助成金獲得に関する助言や推薦書の作成等)も行うほか、市民団体との事業に共催・後援を行った。

(3)留学生ホストファミリー事業

- ◆世話人会定例会：メンバー11人 毎月第3木曜日 全11回実施
(3月19日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

- ◆ホストファミリーボランティア数：登録家族126家族(うち新規登録15家族)

◆登録説明会 ※単位:家族

実施日	参加家族数	登録家族数	新規登録家族 合計
6月23日	20	15	15
3月8日	中止		—

※3月8日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◆留学生とのマッチング数 ※単位:組

	春	秋	合計	総合計
大阪大学	20	46	66	88
JASSO	22	—	22	

◆交流会 ※単位:人

実施日	内 容	参加者数	留学生数	参加者総数
5月26日	万博ピクニック	75	41	116(30 家族)
10月27日	ポットラックパーティ(すてっぷホール)	68	30	98(28 家族)
12月8日	大阪市立阿倍野防災センター	14	3	17(7 家族)
合計		157	74	231(65 家族)

◆関連機関との打ち合わせ、講演会等 ※単位:人

実施日	学校名	内容	参加者数
4月4日	大阪大学	春期対面式①	28
4月13日	大阪大学	春期対面式②	12
5月11日	JASSO	対面式	58
8月2日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
9月27日	大阪大学	秋期対面式①	27
10月4日	大阪大学	秋期対面式②	5
10月12日	大阪大学	秋期対面式③	54
10月18日	JASSO	打ち合わせ	4
11月28日	吹田市国際交流協会	打ち合わせ	3
12月13日	箕面市国際交流協会	打ち合わせ	6
2月21日	大阪大学	留学生支援連絡協議会	1
2月21日	JASSO	来期についての打合せ	4
2月26日	大阪大学	OHP 連絡協議会	2
合 計			207

◆ニューズレターの発行(年2回)

<主な掲載内容> 特集(毎号)/ホストファミリーと留学生の交流体験談/留学生コラム/活動報告

発行日	号数	特集内容	留学生コラム	活動報告
7月2日	66号	Guten Tag! ～ミュンヘンに留学して みて～	カザフスタン ベトナム	交流会～京都西陣織体験～、大阪大学春の出会いの会、JASSO 大阪日本語教育センター対面式、ホストファミリー登録説明会、ギャラリー展示～ホストファミリー特集～、万博ピクニック
12月2日	67号	留学生のその後	ブラジル ベラルーシ	ポットラックパーティ、とよなか国際交流フェスタ、大阪大学秋期出会いの会

◆協会イベント「とよなか国際交流フェスタ」への参加

「世界の飲み物&子どもコーナー」お手伝い：9月7日

2. おとな国際事業

(1)にほんご活動事業

◆もっともつつかえるにほんご、千里にほんご、とよなかにほんご木ひる、とよなかにほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん

にほんご活動事業は、日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営されている。外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流を図る場として週4日(計5活動)開催した。

事業名	曜日	実施時間	参加者のべ人数(うち外国人)	実施回数
もっともつつかえるにほんご	月 曜	10:00~12:00	771人(307人)	35回
千里にほんご	木 曜	10:00~11:30	996人(320人) *加えて乳幼児の参加67人/保育ボランティア2人	38回
とよなかにほんご・木ひる	木 曜	13:30~15:30	1,643人(901人)	40回
とよなかにほんご・金あさ	金 曜	10:30~12:00	2,843人(1,355人)	42回
にちようがちゃがちゃだん	日 曜	10:00~12:00	823人(470人)	32回
総合計			7,076人(3,353人)	187回

●交流活動・学習会などの実施

事業名	実施日	内容	参加人数(うち外国人)
もっもっつつかえるにほんご	12月23日	交流会	28(13)
千里にほんご	1月23日	冬のお楽しみ会	25(8)
とよなかにほんご・木ひる	11月7日	お料理会	52(35)
とよなかにほんご・金あさ	7月5日	七夕	51(22)
	12月13日	バザー&お楽しみ会	90(44)
	1月17日	正月のあそび	63(28)
	3月未定	多文化保育にこにこの合同避難訓練	※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止
にちようがちゃがちゃだん	12月15日	料理交流会	28(11)

◆おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

保育がない、子どもが慣れない、家から遠いなどの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人女性の居場所を提供するため、とよなか国際交流センター以外の公的な場として岡町図書館、庄内図書館、千里図書館で日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行った。乳幼児を抱え、家に引きこもりがちな外国人女性が安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

おかまち・しょうない・せんりおやこでにほんごの参加者合計	1,000人(うち外国人337人)
------------------------------	-------------------

●おかまち・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立岡町図書館3階、とよなか国際交流センターなど		
活動期間	2019年4月16日～2020年2月18日(31回)		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00		
人数	ボランティア登録者数(11人)、のべ参加者数(378人)		
うち外国人おとな	54人	うち外国人子ども	44人
うちボランティアおとな	203人	うちボランティア子ども	77人

～活動内容

実施日	内容	実施日	内容
4月16日	おしゃべり会	10月15日	外遊び@服部緑地公園
4月23日	端午の節句クラフト	10月29日	おしゃべり会
5月14日	おしゃべり会	11月5日	おしゃべり会@とよなか国際交流センター
5月21日	絵本カバーで紙バッグづくり	11月12日	おしゃべり会
5月28日	手芸の日	11月19日	おしゃべり会
6月4日	おしゃべり会	11月26日	お楽しみ会準備@とよなか国際交流センター
6月18日	バスボムづくり	12月3日	お楽しみ会@とよなか国際交流センター
6月25日	おしゃべり会	12月10日	消しゴムハンコづくり 図書館の方によるよみきかせ
7月2日	七夕クラフト	12月17日	おしゃべり会
7月9日	物々交換	1月14日	おしゃべり会
9月3日	おしゃべり会	1月21日	書初め
9月10日	消しゴムハンコ	1月28日	お料理会(デコ巻)
9月17日	おしゃべり会@とよなか国際交流センター	2月4日	お誕生日会
9月24日	お料理会(タコスづくり)	2月18日	ベビーシャワー
10月1日	おしゃべり会		
10月8日	つまみ細工		

●しょうない・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立庄内図書館 3 階研究室、公民館、公民館調理室など		
活動期間	2019 年 5 月 14 日～2020 年 2 月 18 日(19 回)		
活動時間	毎週火曜日午前 10:00～12:00		
人 数	ボランティア登録者数(7 人)、のべ参加者数(138 人)		
うち外国人おとな	33 人	うち外国人子ども	22 人
うちボランティアおとな	58 人	うちボランティア子ども	25 人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
5 月 14 日	持ち寄りおしゃべり会	10 月 29 日	ハロウィンパーティ
5 月 21 日	おしゃべり会・ロッカー整理	11 月 12 日	持ち寄りパーティ
5 月 28 日	部屋整理	11 月 19 日	おしゃべり会
6 月 4 日	新規ボランティア見学会	11 月 26 日	メキシカンタコスづくり
6 月 17 日	持ち寄りパーティ	12 月 3 日	お楽しみ会@とよなか国際交流センター
6 月 24 日	物々交換・おしゃべり会	12 月 10 日	クリスマスパーティ
7 月 2 日	七夕短冊飾り・遊び	1 月 21 日	おしゃべり会
9 月 10 日	おしゃべり会	1 月 28 日	物々交換
10 月 1 日	持ち寄りパーティ	2 月 18 日	味噌づくり
10 月 8 日	ハロウィンリースづくり		

●せんり・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立千里図書館集会所など		
活動期間	2019 年 4 月 16 日～2019 年 2 月 18 日(30 回)		
活動時間	毎週火曜日午前 10 時～12 時		
人 数	ボランティア登録者数(8 人)、のべ参加者数(484 人)		
うち外国人おとな	93 人	うち外国人子ども	91 人
うちボランティアおとな	201 人	うちボランティア子ども	99 人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4 月 16 日	おしゃべり会	9 月 24 日	母語による読み聞かせの講演会
4 月 23 日	鯉のぼりづくり	10 月 1 日	読み聞かせ
5 月 7 日	読み聞かせ	10 月 8 日	ハロウィンクラフト
5 月 14 日	お料理会(たこ焼き)	10 月 15 日	お料理会(ハロウィンのお菓子)
5 月 21 日	おしゃべり会	10 月 29 日	ハロウィンパーティ
5 月 28 日	読み聞かせ	11 月 5 日	お料理会(さつまいもご飯、豚汁)
6 月 4 日	凧作り	11 月 12 日	物々交換会
6 月 11 日	お料理会(天ぷらうどん)	11 月 26 日	クラフト(ブックカバーでバック作り)
6 月 18 日	クラフト	12 月 3 日	国流パーティー
6 月 25 日	おしゃべり会	12 月 10 日	お疲れ様会
7 月 2 日	七夕パーティー	1 月 14 日	お正月遊び
7 月 9 日	お疲れ様会	1 月 21 日	お料理会(モザイク寿司)
9 月 3 日	おしゃべり会	1 月 28 日	おしゃべり会
9 月 10 日	救急救命講座	2 月 4 日	節分(鬼のお面クラフト、豆まき)
9 月 17 日	おしゃべり会	2 月 18 日	読み聞かせ

●おやこでにほんご フォローアップ研修

日 程	2020 年 2 月 25 日(火)午前 10 時～12 時
場 所	とよなか国際交流センター C.C.スペース
講 師	おやこでにほんご現役ボランティア
テ ー マ	卒業後のママ&ボランティアの居場所について
参加者数	- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◆豊中市及び大阪府の教育行政・関係者との連携(識字・日本語豊中連絡会)

日程	内容	場所
9月6日	第1回 識字・日本語豊中連絡会 会議	豊中人権まちづくりセンター
11月1日	識字・日本語豊中連絡会 指導者研修会(主催:識字・日本語豊中連絡会) 識字・日本語ボランティアのためのブラッシュアップ研修 「つながる日本語」から創造する多文化共生社会 【1日目】なぜ「つながる日本語」か? (講師:西口光一さん)	とよなか国際交流センター
11月15日	識字・日本語豊中連絡会 指導者研修会(主催:公益財団法人とよなか国際交流協会) 識字・日本語ボランティアのためのブラッシュアップ研修 「つながる日本語」から創造する多文化共生社会 【2日目】「つながる日本語」支援の活動 (講師:西口光一さん)	とよなか国際交流センター

(2)多文化共生推進事業

◆世界を食べよう

2014 年度より、地域の日本人を対象に異文化に触れる機会及び講師となる外国人のエンパワメントにつながる機会を作るために「世界を食べよう」を開催している(昨年度より、多文化共生推進事業として実施)。講師は、地域在住の外国人が担当した。今年度は3回の実施予定であったが、うち1回は講師の都合のため、1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、1回のみとなった(会場はとよなか国際交流センター料理室)。

実施日	内容	参加者数(うち外国人)
12月5日	フィリピンのクリスマス	13(2)

※6月27日のベトナム編、3月26日の日本料理編は中止

◆通訳派遣

中間支援組織を対象として、外国人の生活支援要請案件に通訳ボランティアを派遣するものである。今年度は3件(英語、中国語)の要請があり、多言語スタッフを派遣した。

◆多文化多言語セミナー「アリラン峠を越えていく～在日コリアン音楽の今」

在日コリアン音楽の多様性とその背景にある歴史や、はぎまで生きてきた在日コリアン音楽家たちの生きざまと情感を描いた映像作品「アリラン峠を越えていく～在日コリアンの音楽の今～」の上映とパンソリ演奏、トークショー。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
10月19日	アリラン峠を越えていく ～在日コリアン音楽の今～	安聖民(パンソリ唱者) 高正子(神戸大学非常勤講師) 寺田吉孝(国立民族学博物館教授) 趙倫子(鼓手)	100(25)
合計			100(25)

◆コモとスースの絵葉書プロジェクト

市民から募集した協会キャラクター「コモとスース」のイラストを配置した絵葉書を5枚1組で作成し、2017年度より継続して頒布している。

◆外国人のための茶道教室

地域の外国人が日本文化に触れる機会として、茶道教室を開催している(2015年度より、多文化共生推進事業として実施)。今年度は「第5回 とよなか国際交流フェスタ」内の1ブースとして、ボランティアの協力を得て実施した。フェスタ内での開催としたため、地域の外国人の他、普段は茶道を体験したことのない日本人市民も参加可能としたところ、親子連れも含めた幅広い参加があった(会場はとよなか国際交流センター和室)。

内容	実施日	参加者数(うち外国人)
外国人のための茶道教室 (「第5回 とよなか国際交流フェスタ」内で実施)	9月7日(土)10:00~/ 15:00~	15(6)

◆外国人のための武道体験

豊中市スポーツ振興事業団との共催事業「サムライプロジェクト」として実施。豊中市スポーツ振興事業団と関わりのある講師が外国人に向けて指導し、一緒に参加したボランティアとも交流の場となった。カラテエクササイズの会場はとよなか国際交流センター、合気道は講師の厚意で刀根山にある道場、居合道はすてっぷホールで実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、カラテエクササイズ1回のみの実施となった。

内容	実施日	参加者数(うち外国人)
カラテエクササイズ①	2月17日	7(1)
カラテエクササイズ②	2月21日 (中止)	—
合気道	3月15日 (中止)	—
居合道	3月28日 (中止)	—
合 計		7(1)

◆国流シネマカフェ

国際交流や人権に関する映画を観ることで、社会的課題についての新たな気づきにつなげる。

今年度も、「観たい映画アンケート」を取り、その結果を踏まえて、年3回上映会を行った。参加者数もほぼ定着し、次回の映画を楽しみにするリピーターからの問合せも増加した。夜間事業として開始したが、今年は親子での参加も想定し、7・10・12月の日曜日、日中の時間帯に開催した(場所はいずれも、とよなか国際交流センター)。

	開催日時	上映作品	参加者数	うち外国人
第1回	7月28日(日) 10:30~12:00 14:00~15:30	ズートピア	22	7
			19	6
第2回	10月20日(日) 14:00~16:30	帰ってきたヒトラー	26	2
第3回	12月22日(日) 15:00~17:00	チャーリーとチョコレート工場	23	5
合 計			90	20

3. 持続可能な地域づくり事業

◆市民ゼミナール・メディア・リテラシー

日 時	2020年2月15日(土)
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	5人(うち外国人3人)
テ ー マ	メディアリテラシー講座 ~こどもとメディア~
講 師	田島知之さん(京都府立大学非常勤講師)、登丸あすかさん(文京学院大学助教)
ワークショップ内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どものメディア環境を考える ・ メディアリテラシーとは ・ メディアは「現実」を構成する ・ 子どものメディア環境への提言

①参加者同士の「対話の文化」を作ること、②参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得すること、③マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することで「多様な人々が尊重される地域づくり」の推進を目指している。本年度は初めてメディアリテラシーに接する人にも参加しやすいような構成で開催した。参加者の中には講座に初めて参加する人もおり、導入では自身が接してきたメディアを時系列にまとめ発表し合い、アイスブレイクを行った。また参加者にも親しみやすいアニメを分析したほか、改元についての報道の分析も行った。分析が進むにつれ全体での議論に発展しはじめ、映像分析が初めての人も多量中、参加者同士の意見交流が活発に行われた。

(2)持続可能な開発のための教育(ESD)・防災・地域貢献

国連が提唱し、2005年から始まった「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」を受け、2005年2月にキックオフをしたESDとよなかは、豊中市と市民活動中間支援団体(6団体)が事務局会議を行い、緩やかにながら10年間活動を行ってきた。その活動内容を踏まえ、ESDとよなか連絡会議をスタートさせ、現在も関係団体で協働して継続的に活動を行っている。

今年は各構成団体の取組状況の共有のほか、ESDとよなか連絡会議の進め方について意見交換を行った。相互の取組に関する情報交換や学びを土台に、ESDについて発信し共有するイベント等の企画につなげていくことを確認した。それを踏まえ、2019年度は施設間スタンプラリー、SDGsに関する研修会、市民活動の交流の場を設け、多くの人にESDについて知ってもらうことができた。

◆2019年度 ESDとよなか連絡会議

実施日	参加者数 (うち外国人)	開催場所	構成団体&機関名
5月23日	11(0)	すてっぶ	NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会、一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団、公益財団法人とよなか国際交流協会、社会福祉法人豊中市社会福祉協議会、NPO法人とよなかESDネットワーク、豊中市[環境政策課、市民協働部千里地域連携センター、人権政策課、社会教育課]
6月14日	10(0)	市民活動情報サロン	
7月28日	11(0)	すてっぶ	
9月7日	11(0)	すてっぶ	
9月26日	10(0)	すてっぶ	
10月24日	10(0)	すてっぶ	
11月26日	10(0)	すてっぶ	
1月23日	11(0)	とよなか国際交流センター	
合計	84(0)		

実施日	参加者数 (うち外国人)	開催場所	内容
9月7日	114(10)	とよなか国際交流センター、すてっぶ、市民活動情報サロン	施設間スタンプラリー 第1弾
9月10日~10月10日	36(3)	とよなか国際交流センター、すてっぶ、市民活動情報サロン、人権まちづくりセンター、環境交流センター	施設間スタンプラリー 第2弾
11月8日	29(0)	環境交流センター	ゲームで体感するSDGs
2月4日	20(0)	とよなか国際交流センター	ちゃんぶるカフェ(ちゃんぶる屋台村に出展予定の市民団体等の交流会)
2月16日	361(2)	すてっぶホール、とよなか国際交流センター	ちゃんぶる屋台村(ブース出展:ワークショップ、飲食、物販、パネル等)、スタンプラリー
合計	560(15)		

◆出版記念フォーラム「外国人と共生する地域づくり~大阪・豊中の実践から見てきたもの~とよなか国際交流協会大解剖！」

昨年度設立25周年を迎えたことを機に、明石書店より『外国人と共生する地域づくり~大阪・豊中の実践から見てきたもの』を刊行。協会の活動を様々な視点で分析し、外国人支援に関心がある福祉の専門職、地域国際交流協会に向けて、多文化共生と福祉をつなぐ観点と可能性について論じたもの。

このフォーラムでは監修者である牧里每治さん(関西学院大学名誉教授)の基調講演と、協会の活動のエッセンスを集めた4つの分科会から、豊中における多文化共生のこれからを考えるきっかけとした。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
6月29日 13:00-16:00	外国人と共生する地域づくり~大阪・豊中の実践から見てきたもの	牧里每治さん(関西学院大学名誉教授)、田中逸郎さん(前豊中市副市長)、榎井緑さん(大阪大学特任教授)他	102(21)
合計			102(21)

◆EPA 介護福祉士候補者のための日本語サポート事業

外国人が介護の担い手として増加する中、候補者が日本で安心して仕事・生活ができるよう、受け入れ施設である地域の介護保険事業者と協働し、介護福祉士候補生の国家試験合格を目指すほか、業務上の日本語習得をはじめ日本語検定試験(N3)及び国家試験対策を行う。指導者は協会の日本語指導者有志で構成されたEPAST(EPA Support Toyonaka)。事業者と連携して介護分野での持続可能な支援・協働の在り方を模索するモデル事業として位置付けている(2017 年度より実施)。今年度は、年度途中で新たに 6 人の介護福祉士候補生を受け入れた。

<指導実績> ※対象者は 10 人、指導者は基本的に 1 回 1 人(指導登録者 4 人)

指導者	実施曜日	実施時間	参加者のべ人数(うち指導者)	のべ実施回数
EPASTメンバー	金	14:00~16:00	152人(53人)	53回

◆国際理解教育などの講師の派遣など

全部で 55 件、73 人(14 か国)を派遣した。内容も生活や文化、言葉の紹介のほか、豊中市の多文化共生に関する取組や制度の現状、外国人の状況など多様であり、対象も学校やこども園、市役所職員や一般向けセミナーなど幅広く対応した。

	実施日	派遣先、内容	講師 (出身を記載)	人数
1	4月24日	豊中市介護保険事業者連絡会	日本(職員)	1
2	5月24日	大阪市総合生涯学習センター	日本(職員)	1
3	5月27日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
4	5月28日	豊中市教職員組合	日本(職員)	1
5	5月29日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
6	6月1日	有限会社協働研究所(とよなか地域創生塾講座)	日本(職員)	1
7	6月3日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
8	6月10日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
9	6月14日	吹田市立古江台中学校	ペルー、台湾、タイ、韓国	4
10	6月14日	豊中市立緑地小学校	韓国	1
11	7月4日	豊中市立第十一中学校	インドネシア、韓国、中国、ペルー、タイ、ベトナム、アゼルバイジャン、日本、ルーマニア	9
12	7月6日	有限会社協働研究所(とよなか地域創生塾講座)	日本(職員)	1
13	7月11日	RINK(外国人労働者受け入れ施策と日本語教育施策の距離)	日本(職員)	1
14	7月22日	豊中市教育委員会(教職員 2 年目研修)	日本(職員)	1
15	7月25日	大阪府立学校人権教育研究会資料教材開発プロジェクト「多文化教育」研究チーム	フィリピン	1
16	7月26日	豊中市立北条小学校	日本(職員)	1
17	7月30日	豊中市教育委員会(教職員 2 年目研修)	日本(小学校)	1
18	8月3日	一般財団法人大阪府教職員互助組合(第6回府民夏季セミナー)	日本(職員)	1
19	8月7日	豊中市教育委員会学校教育課(教職員研修)	日本、アメリカ(職員)	1
20	8月27日	一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)(管理職研修)	日本(職員)	1
21	9月4日	市教研 帰国・外国人児童生徒教育・国際理解部会	日本(職員)	1
22	9月8日	国際サークル友好 21(多様な街づくりセミナー)	日本(職員)	1
23	9月18日	豊中市福祉部地域共生課(外国人と多文化共生)	日本(職員)	1
24	9月24日	兵庫県国際交流協会(一般研修)	日本(職員)	1
25	9月25日	大阪市教育委員会(一般研修)	日本(職員)	1
26	9月25日	大阪府立豊中支援学校高等部 3 年(国際交流と異文化体験)	韓国	1
27	9月27日	大阪府立茨木西高等学校 3 年生(人権学習)	ベトナム(職員)	1
28	10月2日	大阪府立豊中支援学校高等部 3 年生(国際交流と異文化体験)	韓国	1

29	10月9日	庄内こどもの杜幼稚園	シンガポール	1
30	10月11日	大阪府立豊中支援学校高等部2年生	韓国	1
31	10月20日	北九州市立中央図書館(多文化共生とやさしい日本語)	日本(職員)	1
32	10月23日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
33	10月25日	大阪府立豊中支援学校高等部2年生(国際交流と異文化体験)	韓国	1
34	10月28日	豊中市社会福祉協議会地域共生推進プロジェクト実行委員会 (豊中市の外国人の状況について)	日本(職員)	1
35	11月7日	豊中市社会福祉協議会(外国人の課題)	日本(職員)	1
36	11月12日	近畿夜間中学校連絡協議会(外国人の現状)	日本(職員)	1
37	11月18日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
38	11月20日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
39	11月23日	ヒューマンアカデミー大阪校	日本(職員)	1
40	11月26日	豊中市子ども未来部(外国人と人権)	日本(職員)	1
41	11月30日	泉佐野地球交流協会(となりの外国人)	日本(職員)	1
42	12月10日	豊中市立西丘小学校(世界を知ろう)	韓国	1
43	12月11日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
44	12月11日	大阪府立千里高等学校(人権相互理解講座)	ペルー、フィリピン、韓国、 ベトナム、中国、ネパール	6
45	12月12日	豊中市立大池小学校	ネパール、シンガポール、 韓国	3
46	12月23日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
47	1月15日	大阪府立豊中支援学校中等部	エクアドル	1
48	1月27日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
49	1月29日	大阪府立豊中支援学校中等部	エクアドル	1
50	2月1日	河内長野国際交流協会(日本語教育推進法について)	日本(職員)	1
51	2月4日	大阪府立豊中支援学校高等部1年(国際交流と異文化体験)	韓国	1
52	2月6日	豊中市市民協働部くらし支援課(外国人労働者受入れについて)	日本(職員)	1
53	2月18日	大阪府立豊中支援学校高等部1年(国際交流と異文化体験)	韓国	1
54	2月20日	庄内こどもの杜幼稚園(異文化理解)	シンガポール	1
55	2月22日	一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)	日本	1
合 計				73

◆その他

●幸せの黄色いレシートキャンペーン

イオングループが行っているもので、毎月11日の買い物時に発行される黄色いレシートを客が地域の応援したい団体の投函BOXへ入れると、買い上げ金額合計の1%が希望する品物で寄贈される。「ダイエー曽根店」にて参加している。

期間	金額	贈呈品
2019年 上期(2019.3~2019.8)	¥5,339	絆創膏、包帯、ウエットティッシュ、色画用紙他

●社会福祉協議会 地域共生推進プロジェクト実行委員会

豊中市社会福祉協議会が実施する地域共生推進プロジェクト実行委員会に参加し、地域に暮らす外国人の状況把握のための調査(アンケート及びヒアリング)、検討のための実行委員会、発信のための地域共生フォーラムに参加した。

・ 実行委員会 … 7月16日、7月24日、8月15日

- ・ 地域共生フォーラム … 10月28日
- ・ ヒアリング … 11月29日、12月2日、12月6日、1月23日

●協働に関する意見交換会

とよなか市民環境会議(事務局:豊中市環境部環境政策課)が主催する協働に関する意見交換会に参加し、とよなか国際交流協会の取り組みのうち、主に学校と市民との協働に関して事例紹介、情報提供を行った。

- ・ 「学校教育における環境学習について」 … 8月23日

●新型コロナウイルスの感染拡大及び防止に伴う外国人への影響に関する意見交換会

新型コロナウイルスの感染拡大による外国人への影響等について把握し、今後の必要な施策等について検討するための意見交換会(主催:大阪出入国在留管理局)に参加し、とよなか国際交流協会の取り組みについて報告、意見交換を行った。

- ・ 意見交換会 … 3月24日

●大阪府富田林市 多文化共生推進委員会

富田林市が多文化共生推進指針を改定するにあたり、現状把握、改定内容について検討を行うために設置した委員会に委員として参加した。

- ・ 富田林市多文化共生推進委員会 … 9月24日、(10月29日 ※欠席)、11月14日、2月10日

4. 持続可能な人づくり事業

(1) ボランティア研修事業

◆2019年日本語ボランティア養成講座

各曜日のにほんご活動事業にボランティアとして活動することを希望する人を対象に、連続講座形式のボランティア養成講座を実施した。本講座は、日本語ボランティアを始める際に必要な基礎的な知識や考え方、外国人住民がおかれた現状などについて知ることを目的としている。また、参加者が互いに学び合うことのできるようにワークショップ形式や対話形式を取り入れて実施した。なお、本講座は現役の日本語ボランティアにとっての研修も兼ねており、年1回の学びの機会として周知している。

2019年度について、ボランティア希望者19人のうち17人が講座終了後に活動を始めた。

	実施日	テーマ	講師	参加者数
第1回	9月28日	地域の国際化と日本語ボランティア～ワークを通じて考える身近な外国人にまつわる現状と課題	山本房代、山野上隆史(とよなか国際交流協会)	20人
第2回	9月28日	日本語交流活動ってどんなもの?	御館久里恵さん(鳥取大学)	21人
第3回	10月5日	現役ボランティアとの交流会	日本語交流活動ボランティア	29人
第4回	10月5日	「人生100年時代、だれとどう生きますか? ~外国人×介護労働×地域×家族~」 【公開講座として実施】	郭辰雄さん(コリア NGO センター代表理事)、大塚陽子さん(立命館大学教授)	58人
第5回	11月24日	にほんご交流活動を深めよう① ～交流型日本語の実践に向けて	服部圭子さん(近畿大学)	21人
第6回	11月30日	にほんご交流活動を深めよう② ～ボランティア活動と多言語相談サービス事業の交差点	吉嶋かおりさん、日本語ボランティア	16人
合計				165人

◆千里にほんご 日本語ボランティア養成講座

「千里にほんご」は、豊中市千里地域連携センターとの共催で実施している。新規ボランティアの募集及びボランティア養成講座についても、豊中市千里地域連携センターと共に実施した。各講座は、現行のボランティアの研修としても周知を行った。

また、第2回講座については新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期した(2020年度に実施予定)。

<2019年度 募集ボランティア向け>

	実施日	テーマ	講師	参加者数
第1回	2月13日	『日本語交流活動』をほりさげる」 ワークショップと事例紹介	山野上隆史(とよなか国際交流協会)	7人
第2回	2月27日	とよなか国際交流協会の取組み～地域における外国人支援を考える 千里地域連携センターの取組み～市民協働による賑わい創出と地域課題解決について	黒島トーマス友基(とよなか国際交流協会) 田中直之(千里地域連携センターセンター長)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
合計				7人

◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

日本に暮らす外国人の定住化が進み、国際結婚家庭も少なくない中、地域の外国人が抱える課題を、同じく子育てをしている日本人に知ってもらい、全ての人が安心して子育てができるためには地域で何ができるかを考えるための講座を行った。参加者は講座終了後、各活動の見学を経て、豊中市親子参加型日本語教室「おかまち・おやこでにほんご」、「しょうない・おやこでにほんご」、「せんり・おやこでにほんご」、「多文化保育にこにこ」のボランティアとして活動し始めた。また、現役ボランティアや他事業の協会ボランティアに対しても研修として周知し、参加を呼びかけた。

	実施日	テーマ	講師	参加者数
第1回	5月16日	続・相手を知り、自分を知ろう！ ～外国人親子とのコミュニケーションを考える～	富岡美知子さん(異文化コミュニケーションントレーナー)	参加者 22人 (うち新ボランティア 15人)
第2回	5月23日	とよなか国際交流協会/『おやこでにほんご』・『多文化保育にこにこ』の活動紹介と外国人ママのお話	山本房代(とよなか国際交流協会)、おやこでにほんごボランティア	参加者 29人 (うち新ボランティア 14人)
第3回	5月30日	ボランティアをはじめよう！ ～子育て支援ボランティアが大切にしたい視点とは～	上村有里さん(とよなかESDネットワーク)	参加者 17人 (うち新ボランティア 14人)
第4回	6月6日	多文化保育の実践を知ろう！～わたしたちが地域でできること	谷口正子さん(大阪国際大学名誉教授、国際幼児教育学会理事、医学博士)	参加者 22人 (うち新ボランティア 15人)
※時間はいずれも10時～12時				合計 90人

◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

テーマについて、参加者みんなで問い、意見を出し合うスペースづくりを、「哲学カフェ」を実践しているカフェフィロや大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室の大学生と共に行った。通常は午前実施しているが、開催曜日や時間を工夫し、テーマに興味のある人が参加できるように試みた。進行役、ボランティア、協会職員と一緒にテーマについて話し合い、熟考し「問い」の形になるようテーマを決定した。チラシも進行役本人に作成してもらった。

	実施日	テーマ	進行役	参加者数 (うち外国人)
第1回	5月19日 16:00～18:00	若者のための哲学カフェ テーマ:936円でなにをする?	川崎唯史さん (カフェフィロ)	8(5)
第2回	10月20日	女性のための哲学カフェ テーマ:「くらす」ってどういうこと?	米倉梨恵、田中菜緒 (大阪大学)	6(0)
第3回	3月29日	未定	稲田紘子 (大阪大学)	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
合計				14(5)

◆学生受け入れ(インターン)

今年度は、3校よりインターンの希望があり、5名のインターンを受け入れた。

学校名	人数	時間
大阪大学	2人	160時間
甲南女子大学	2人	80時間
関西大学	1人	300時間
合計	5人	540時間

◆公開シンポジウム「人生100年時代、だれとどう生きていきますか～外国人×介護労働×地域×家族」

(一財)とよなか男女共同参画推進財団との共催で公開シンポジウムを実施した。なお、当協会の日本語ボランティア養成講座のプログラムとしても位置付けて実施した。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
10月5日	公開シンポジウム 「人生100年時代、だれとどう生きていきますか～外国人×介護労働×地域×家族」	郭辰雄(コリア NGO センター代表理事) ／大塚陽子(立命館大学教授)	58
		合計	58

◆学びほぐしシリーズ「あたりまえ」に対抗する“ばづくり・ひとづくり”実践者セミナー

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
2月11日	『こんな夜更けにバナナかよ』から問い直す支援—被支援の関係性	渡辺一史さん(ノンフィクションライター)	67(2)
		合計	67(2)

◆まるわかりセミナー

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
7月19日	来てなっつく!まるわかりセミナー 多文化共生編	山野上隆史(とよなか国際交流協会事務局長)	36(3)
		合計	36(3)

◆ボランティア研修「多文化共生社会の実現に向けて」

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
2月14日	「多文化共生社会の実現に向けて～改定出入国管理法の施行から1年、現状を知り、地域社会と外国人の共生を考えるために」	高谷幸(大阪大学准教授)	27(11)
		合計	27(11)

5. 子ども国際事業

(1)おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人が講師となり、国際理解講座や遊び等の体験を通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師にとっては持っている力を発揮する機会になった。

	実施日	テーマ	参加者数（人）		
			計	うち子ども	うち外国人
第1回	6月22日	わくわくシンガポール	21	10	3
第2回	7月20日	チョアチョア 코리아①	30	17	8
第3回	8月24日	発見！体験！インドネシア！	15	7	4
第4回	11月30日	コリアタウンへ行こう	14	5	1
第5回	12月21日	チョアチョア 코리아②	15	6	5
第6回	3月28日	色々な国の遊びをしよう	—	—	—
合計			95	45	21

※ 3月28日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(2)韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、基本的に毎月第3土曜日に集まり、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方が主体の「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会が中心となり、「つどい」の運営を進めている。場所は第5回の豊中市立文化芸術センター以外はとよなか国際交流センター。

民族講師(ソンセンニム):金 生遵、趙 知順

	日程	内 容	参加者数 (うち外国人)	先生(うち外国人※ソ ンセンニム含む)
—	4月13日	実行委員ミーティング	—	11(4)
第1回	4月20日	開講式・自己紹介・ハングル名札づくり・楽器練習	7(7)	18(5)
第2回	5月18日	楽器の話と楽器練習、コッカル作り	6(6)	14(4)
第3回	5月25日	楽器練習～特別編～	6(6)	14(5)
第4回	6月8日	楽器練習、つながり遊び	6(6)	14(2)
第5回	6月15日	府外教研究集会(豊能大会)全体会で文化発表	5(5)	15(6)
第6回	9月14日	パネルを作ろう	2(2)	13(3)
第7回	10月19日	多文化フェスティバルに向けて	2(2)	10(4)
第8回	11月16日	多文化フェスティバルに参加しよう	6(6)	10(5)
第9回	12月14日	ウリマルを学ぼう、年賀状作り、新年のあいさつ	9(9)	13(4)
第10回	1月18日	お料理会とお正月の話	10(10)	20(12)
第11回	2月15日	一年間をふりかえろう、作文作り	6(6)	14(5)
第12回	3月14日	修了式	—	—
合計			65(65)	166(59)
総合計			231(124)	

※ 第13回(3月28日)として実行委員ミーティングを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◆ハギハッキョ(夏期学校)

日程	名前	場所	参加者
7月23日	ハギハッキョ(40周年記念)	とよなか国際交流センター すてっぷホール	44
8月8日、9日	ハギハッキョ・キャンプ	豊中市立青少年自然の家わっぱる	14
合計			58

Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

1. おとなサポート事業

(1) 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談 毎週金曜日 11:00～16:00	相談件数(臨時通訳除く) 計 : 952 件	
相談員	吉嶋かおり(臨床心理士)	
コーディネーター	ジャ・チン	
多言語スタッフ	中国語	ジャ
	韓国・朝鮮語	ジェイ
	フィリピン語・英語	マリア
	タイ語	ティビ
	ベトナム語	アン、チョウ
	スペイン語	クラウディア、テレサ
	インドネシア語／英語	デヴィナ
ネパール語	バティ	
臨時通訳	臨時通訳件数:32 件	

※ 新型コロナウイルスの感染拡大への対応として、2020年2月21日からは月(10:00～13:00)、木(13:00～16:00)、日(10:00～13:00)にも相談サービスを実施した。

◆相談件数

2019年度の相談件数は952件。前年度が1,001件、前々年度が952件で、ここ数年1,000件前後で推移している。相談件数には、子ども支援事業での相談件数(※事務局職員対応分)も含まれている。週1回の相談日はほぼ飽和状態でもあり、2020年度から相談体制を拡充させることになった。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、49.1%だった。センター事業の「利用者」からの相談も、例年通り豊中市民が多く、約70%を占めた。大阪府内全域で約80%、兵庫県内の豊中市近隣市町を含めると全体の約85%である。残りは、遠方の他府県や海外から、電話やメール等で相談が寄せられている。海外からは、無断離婚に関する相談が多数あった。

国籍はフィリピンが最も多く28.3%だが、例年よりは構成比率が減少した。次いで中国が14.1%、ネパールが9.9%、ベトナム5.6%、韓国5.3%、タイ4.0%となっている。在住人口が増加しているネパール、ベトナムは相談でも増加傾向を示している。日本国籍者からの相談も多く、約12%を占めている。

日本国籍だが日本以外にルーツを持つ人からの相談件数は93件(約10%)だった。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は34件で、例年このような傾向が続いている。日本国籍者の多文化化の傾向が窺える。外国籍だが日本語で相談を行ったのは324件で(約34%)、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語(母語)とするものは79件、23か国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。国籍は39か国に及んだ。

在留資格は永住者16.8%、家族滞在14.9%、定住者14.4%、配偶者12.6%だった。相談における在留資格「家族滞在」の件数の増加の背景は、就労ネパール人が呼び寄せた配偶者や子からの相談の急増がある。

職業では介護職が6.4%、介護職以外のパート・アルバイト(工場勤務等)が20.7%、学生12.1%(留学、大学生、小中高生全て)、無職(主婦を除く)が15.2%だった。学生は主に中高生からの相談である。無職の約半数は生活保護受給者で、就労者はほぼ非正規労働者である。

<相談内容と件数>

大項目	内容別件数 (前年度比)	割合 (%)	前年度 件数	小項目 <カッコ内は全件に占める割合(%)>
夫婦関係	229 (109%)	17.2	211	DV(2.6)、離婚(5.6)、親権・養育費(1.9)、不和・不満(1.1)、国際結婚(2.0)、その他(4.1) ※うち無断離婚に関する相談は 55 件
手続き	167(85%)	12.5	197	在留資格など(5.8)、家族呼び寄せ(1.1)、養子(0.2)、日本国籍取得・帰化(3.3)、その他(2.3)
生活	386(111%)	29.0	348	日常生活(7.4)、行政手続き(5.3)、住居(2.7)、日本語学習(6.4)、金銭問題(1.0)、交通事故(1.2)、生活困窮(1.7)その他(3.3)
保健	86(165%)	6.5	52	メンタルヘルス(1.1)、医療(3.1)、母子保健(1.5)、その他(0.8)
人間関係	89(98%)	6.7	91	家庭(3.0)、友人(1.6)、地域(0.5)、職場(1.1)、その他(0.5)
労働	149(85%)	11.2	176	求職(6.2)、就労定着上の問題(1.7)、失業・退職(0.7)、労災(0.0)、給料未払(0.6)、その他(2.0)
子ども	195(78%)	14.6	251	子育て(2.6)、学校(8.3)、保育所・幼稚園(1.5)、その他(2.2)
その他	32(89%)	2.5	36	人権侵害(0.8)、その他(1.7)

※ 1 件の相談が複数のテーマにまたがることあるため、内容別件数の総数は相談件数の総数より大きくなる。
 ※ 無断離婚に関する相談件数 55 件(「離婚」「夫婦関係その他」に含まれている)。

◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談者への支援依頼など、他機関との連携による相談は 130 件(13.7%)だった。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者(生活保護受給者含む)の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもの学校生活における問題等であった。

豊中市	人権政策課、保健センター、子ども相談課、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、地域就労支援センター(くらし支援課)、他
豊中市以外の自治体・学校	福祉事務所・生活支援部局、DV担当、保健センター、府・他市教育委員会、公立高校、他
公的支援機関	社会福祉協議会、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター
その他支援機関	在住外国人支援団体、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、事業所、協会事業ボランティア

◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び、資質向上を図った。

実施日	テーマ 講師等	参加者数(うち外国人)
4月26日	「在留資格について」 講師:木村雄二(RINK)	12(7)
5月24日	多言語スタッフのための相談対応研修 講師:吉嶋かおり(臨床心理士)	8(6)
6月21日	コミュニティ・トレモ研修会 講師:服部信子(臨床心理士)	12(7)
9月27日	多言語スタッフのための相談対応研修 講師:吉嶋かおり(臨床心理士)	9(7)
11月15日	多言語スタッフのための相談対応研修 講師:吉嶋かおり(臨床心理士)	8(6)
12月27日	多言語スタッフのための相談対応研修 講師:吉嶋かおり(臨床心理士)	8(6)
合計		57(39)

◆外国人のための多言語セミナー／一日相談会／交流事業

相談事業に寄せられる相談から課題を抽出してセミナー化し、広く情報提供を図った。また、特定のテーマでの専門家による一日相談会も開催した他、外国人同士が交流できる機会を創出した。

実施日	テーマ	参加者数 (うち外国人)
	講師	
6月15日	行政書士相談会	12(8)
	大阪府行政書士会豊能支部	
10月13日	デザインパーティ(ネパールの秋祭り)	45(41)
	(若者支援事業と合同で実施)	
10月26日	インターナショナルポットラックパーティ	96(66)
	(多言語スタッフが運営)	
3月6日	外国人のための健康セミナー「子どもの口腔ケアについて」	— ※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため延期
	講師:豊中市 歯科衛生士	
	協力:豊中市保健センター	
合計		153(115)

◆同行支援

相談対応の中で機関連携が必要な場合、必要に応じてスタッフが同行サポートを行う。

同行先	回数	同行先	回数
女性相談センター	2	法務局	1
裁判所	4	年金事務所	2
法律事務所	5	豊中市関係施設	6
大阪府教育庁	8	その他	2
府立高校	10		
合計			40回

◆地域連携

実施日	内容
5月30日	豊中市保健センター 保健師・社会福祉職向け情報提供
7月26日	豊中市子どもを守る地域ネットワーク会議
関係機関からの多言語翻訳協力	豊中市教育委員会

◆リコン・アラート(協議離婚問題研究会)の運営

協議離婚制度の簡便さから、日本人配偶者である夫から勝手に離婚届を出されるという相談ケースを踏まえ、協議離婚制度の問題について関西の外国人支援団体、法学者、弁護士と共に「協議離婚問題研究会(リコン・アラート)」を2014年度より運営(代表事務所は当協会)し、ネットワークの中で調査・啓発を実施している。

今年度も引き続き2017年度に作成した啓発動画&パンフレットと11言語でのウェブサイトならびにフェイスブックページを配布、動画配信を継続した。ネパール語ページを新たに作成し、情報は12言語となった。また、Wikipediaへの「無断離婚」に関する解説の掲載準備、「無断離婚対応マニュアル」の出版のため編集委員会を開催した。(2019年9月に日本加除出版より刊行)。3月には構成団体と共に一日離婚電話相談会(共催:大阪弁護士会)を開催した。

会議実施日	内容	参加者
4月8日、30日、6月18日	「無断離婚対応マニュアル」編集会議	18
10月1日	第9回リコン・アラート会議	9
12月7日(土)13時~16時	出版記念シンポジウム「勝手に国際離婚?!」	44(9)
12月12日(金)	CEDAW(国連女子差別撤廃委員会)×関西女性交流会 (主催:大阪市男女共同参画のまち創生協会)	3(1)
2月15日(土)10時~16時	外国人のための一日離婚電話相談会(相談件数15件)	19(10)
合計		93(20)

[リコン・アラート構成メンバー]

二宮周平さん(立命館大学)、大谷美紀子さん(弁護士、外国人ローヤリングネットワーク代表)、芝池俊輝さん(弁護士、外国人ローヤリングネットワーク事務局長)、木村雄二さん(外国人労働者とその家族の権利を守る関西ネットワーク RINK)、村西優季さん(NGO 神戸外国人救援ネット)、いくの学園、京都 YWCA・APT、アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)、公益財団法人箕面市国際交流協会、カトリック大阪大司教区 社会活動センターシナピス、公益財団法人大阪府国際交流財団(OFIX)

URL:http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert

◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内に DV 相談の周知のために情報コーナーを設置し、多言語(9 言語)で情報提供している。

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009 年度～2010 年度文化庁委嘱事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011 年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご活動事業「もっとももっとつかえるにほんご」の立ち上げ・初期の運営及び外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催してきた。今年度も 2011 年から引き続き、就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験に向けた個別サポートを行った。毎週火曜日の開催とし、試験日の 3 か月前から実施した。

登録学習者数	20 人(ボランティアは 8 人)	
サポートのべ回数	47 回	
サポートのべ時間数	352 時間	
内容	日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導(のべ 156 人)	
実施日	4 月	2 日、4 日、9 日、11 日、16 日、17 日、23 日、25 日
	5 月	7 日、9 日、14 日、16 日、21 日、23 日、28 日、30 日
	6 月	4 日、6 日、11 日、13 日、18 日、20 日、25 日、27 日
	9 月	3 日、10 日、12 日、17 日、19 日、24 日、26 日
	10 月	1 日、3 日、8 日、10 日、15 日、17 日、24 日、29 日、31 日
	11 月	5 日、7 日、12 日、14 日、19 日、21 日、26 日

<協会／むすびめ連絡会>

「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施する共催事業や資格・就労のための日本語学習の打合せなど、情報共有を定期的の実施した。

参加者数	のべ 30 人
実施日	4 月 22 日、5 月 20 日、7 月 1 日、9 月 2 日、10 月 7 日、11 月 11 日、12 月 2 日

(2)コミュニティ活動

◆フィリピン人中高年の居場所づくり「Filipino Young at Heart's Club(FYAHC)」

2017 年度の大阪コミュニティ財団助成事業「外国人高齢者のための居場所づくり調査事業」を踏まえ、2018 年度から、今後急速に高齢化を迎えるフィリピン人向けの居場所づくりを試行的に実施している。(頻度は毎月 1 回日曜日、コーディネーターは 2 名(ラモス・マリコ、平松マリア))

実施日	内容	参加人数(うち外国人)
5 月 19 日 13 時半～16 時半	ピノイフェスタ(フィリピンの花祭り)	63(60)
6 月 29 日 14 時～16 時	ズンバ(出版記念フォーラムにて)	7(7)
7 月 28 日 14 時～16 時	フィリピン民族ダンスの練習	11(11)
8 月 25 日 14 時～16 時	フィリピン民族ダンスの練習	8(8)

9月29日 14時～16時	フィリピン映画上映会&カラオケ大会@庄内	18(18)
10月26日 14時～16時	フィリピン民族ダンス披露(インターナショナルポットラックパーティにて)	15(15)
12月8日 14時～16時	クリスマスパーティ	50(42)
1月25日 14時～16時	ズンバ(新春のつどいにて)	8(8)
2月28日 14時～16時	ヘルシークッキング	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
合 計		180(169)

・ベトナム人市民による自主的なコミュニティ活動支援のため、ベトナム人の有志が集まる卓球などのアクティビティ活動場所の提供やコミュニティ周知のための助言・相談を行った。

活動回数	参加者数	内容
42回	のべ421人(うち外国人410人)	卓球 ほか

(3)防災事業

2016年度に締結した「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」(豊中市)、「外国人への多言語での情報提供に関する協定」(大阪大学大学院国際公共政策研究科)を踏まえ、台風接近時に多言語で情報発信を行った。大阪府が主催する会議などに参加し、災害時多言語支援センター設置に関する情報交換などを行った。また、2019年12月9日に豊中市と災害時等における指定管理施設利用の協力に関する協定書を締結した。さらに、地域で開催される防災訓練に参加し、外国人に対して情報提供を行ったほか、地域住民に対しては災害時における外国人への支援の必要性について情報提供を行った。

2月3日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、豊中市の要請に基づき、災害時多言語支援センターを設置し、協会ホームページやfacebookページを通じて、多言語での相談対応、多言語情報の発信を行っている。

社会福祉法人大阪ボランティア協会の災害時のスペシャルニーズ支援事業に委員として参加し、意見交換、情報提供などを行ってきたが、「【外国人編】災害時のスペシャルニーズ支援ハンドブック」として取りまとめ、公表された。

実施日	内容	場 所	参加者数 (うち外国人)
5月25日	防災ネットワーク会議参加(主催:大阪府国際交流財団)	マイドーム大阪	30(2)
11月10日	神崎川流域合同防災訓練への参加@千成小学校	千成小学校	800(25)
2月12日	災害時多言語情報支援センター連絡会議	マイドーム大阪	12(0)
2月26日	災害時多言語支援センター設置に関する打合せ	とよなか国際交流センター	4(0)
合 計			846(27)

2. 子どもサポート事業

(1)多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくりを行っている。保護者にとっては子どもと離れて日本語交流活動へ参加したり、自分の時間を持てる場になっている。また、保育の専門知識を持つボランティアに子育て相談をしたり、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場にもなっている。

実施曜日	時間	回数	ボランティア 登録者数	のべ参加者数(うち外国人) のべボランティア参加者数
木曜日	13:30～15:20	41回	2	子ども 145(145) ボランティア 91
金曜日	10:30～12:00	42回	5	子ども 267(267) ボランティア 208
合 計				子ども 412(412) ボランティア 299

※ 2月21日以降、木・金それぞれ5回ずつ予定していた活動は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった。

◆豊中市子ども読書活動連絡会

「豊中市子ども読書活動推進計画」が「こどもすこやか育みプラン・とよなか～豊中市子育て・子育て行動計画～」の中に組み入れられ、「子ども読書活動連絡会」が立ち上がって以降、協会では、毎年「おやこでにほんご」のボランティアと職員が「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループへ参加し、事業実施の協力を行ってきた。これにより、読書活動において「外国人の視点」が地域課題の一つとして認識されるようになり、図書館との連携という意味でも大きな成果があった。

この動きを受け、協会内でも推進計画を具体的に進めていくために、「外国語絵本コーナー」の設置と 8 言語による「センター図書案内」を作成し、外国人の子どもが参加する全ての事業で、活動の中に読書推進の取り組みを盛り込むことに努めている。センター内の図書コーナーには、外国語絵本コーナーもあり、事業横断的な外国人親子の読書推進活動を行っている。また継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取り組みを行っており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境が作れている。

実施日	内容	場所
6月12日	第1回子ども読書活動連絡会	岡町図書館

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんなあつまれわくわくランドへの出展

市が年に一度開催する子育てイベント。実行委員会に参加し、当日の出し物として、11月16日、12月14日にパネル展示・しょうないおやこでにほんごによる出展を行った。また、今年度もチラシ作成を一部多言語にするため、協会が翻訳協力を行った(11月16日すこやかプラザ、12月14日庄内体育館で実施)。

(2)子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に、中国語、スペイン語、タイ語の4言語の母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフはルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。2017年度末にポルトガル語のスタッフ卒業後、新しいスタッフを見つけることが出来ず、この2年間教室を開講できなかったことに加え、タイ語もスタッフである大学生が7月から留学したことに伴い、教室が休講状態になっている。中国語教室の子どもの参加が大幅に増加・定着したものの、それ以外の言語に関しては子どもの参加も減少傾向にある。そのため、来年度は教室へのニーズ、新しい母語スタッフの確保などを考慮しつつ教室の継続について検討していきたい。

一方、新しい試みとして、英語を母語とする外国にルーツを持つ子どもの保護者からの相談を受け、「外国につながる親子向け母語活動 English Day」を開催した。開催にあたっては、豊中市市民活動情報サロンの登録団体である「エーゴスキー」の協力を得た。また、2019年はペルーへの日本人移民120周年にあたることから、特別記念セミナーを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため残念ながら中止となった。さらに、文部科学省設置の「外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議」の報告書「外国人児童生徒等の教育の充実について(報告)」に本事業の取組が掲載された。

<定例>

実施曜日	時期	時間	回数	参加者数(うち外国人)
第2、4日曜	2019年4月14日～ 2020年2月9日	10:00～12:00	43回	子ども93(93)、ボランティア75(59) 合計：168人(152人)

<クラス別>

クラス	年間活動回数	参加者数 (人)		合計
中国語	19回	子ども73	ボランティア38	111
スペイン語	20回	子ども17	ボランティア31	48
タイ語	16回	子ども3	ボランティア6	9
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計6回が活動休止となった。				合計 168

<その他イベント>

実施日	内 容	参加者数	合計
5月12日	【合同イベント】母の日の工作(メッセージカード)	子ども 8、ボランティア 4	12
9月8日	【合同イベント】ペルー料理作り(アヒ・デ・ガジーナ)	子ども 8、ボランティア 5 保護者 3	16
11月16日	多文化フェスティバルへのブース出展 ※サンプレイスと合同で出展(人間すごろく)	ボランティア 3	3
12月9日	【母語・サンプレイス合同イベント】クリスマス会	子ども 10、ボランティア 9	19
合 計			50

<その他>

- ・外国につながる親子向け母語活動 English Day
協力:エーゴスキー(豊中市市民活動情報サロン登録グループ)

実施日	参加者数 (うち外国人)	合計
1月19日	講師 2人(1)、子ども 7(5)保護者 3(2)	12(8)

- ・母語教育の取り組みに関する調査協力

実施日	調査者
9月17日	立命館大学 学部 4 回生
9月23日	東京学芸大学 専任講師

(3)学習支援・サンプレイス

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。ボランティアの中には外国にルーツを持つ大学生も数名おり、それにより子どもの抱える悩みやニーズへより細やかで柔軟な対応が可能となった。今年度は新しいボランティアも増え、また、その中には外国にルーツを持ち当協会の事業に参加していた“元子ども”や外国にルーツを持つ若者もあり、子どもたちにとってより安心・安全な居場所を提供することができた。また、子ども母語と合同イベントとして万博記念公園への遠足を予定していたが、台風19号により残念ながら中止となった。この3年ほど課外活動が出来ていないので、来年度は是非開催したい。その他、国際交流センターへの「せかいのおばけやしき」でのブース出展やダンス発表、母語と合同イベントとしてクリスマス会を開催した。加えて、初の試みとして、外国にルーツを持つ子どもたちの高校進学に関する支援活動に関わる大阪府内外の団体有志で、各自治体の入試措置に関する情報や課題を共有する「高校入試カタリバ in 大阪」を開催した(協力:外国人生徒・中国帰国者等の高校入試を応援する有志の会)

昨年度に引き続き、就学前の子どもを持つ外国人親子を対象とした入学準備相談会を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

<定例>

実施日	時期	時間帯	回数	参加者数(うち外国人)	
第一以外の日曜	4月14日~2月16日	13:00~15:00	33	子ども	115(115)
				ボランティア	152(74)
				合 計	267(189)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計5回が中止となった。

<その他イベント>

実施日	内 容	参加者数(うち外国人)	合計(うち外国人)
8月18日	「せかいのおばけやしき」への参加	子ども 2(2)、ボランティア 6(2)	8(4)
8月20日	サンプル・インテンシブ①	子ども 2(2)、ボランティア 3(1)	5(3)
8月20日	サンプル・インテンシブ②	子ども 2(2)、ボランティア 1(1)	3(3)
11月16日	多文化フェスティバルブース出展 & ダンス出演	子ども 5(5)、ボランティア 4(4)	9(9)
12月22日	母語・サンプル・インテンシブ合同クリスマス会	子ども 10(10)、ボランティア 8(4)	18(14)
		合 計	46(33)

・ボランティア研修の実施

実施日	内 容	講師	参加者数(うち外国人)
9月29日	子ども事業の歴史と子どもの課題	担当職員	4(1)
10月27日	対人援助のための視点	栗本敦子さん(えふらば)	5(2)

<中止となった子ども事業関連イベント等>

日時	内 容
10月31日	母語サンプル・インテンシブ合同イベント 万博記念公園への遠足 ※台風19号の影響により中止
2月29日	外国人親子のための小学校入学準備相談会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
3月8日	母語合同イベント 水餃子作り ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
3月15日	特別セミナー『ペルーへ 日本人移民の始まりと今』 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

<その他>

・高校入試カタリバ in 大阪

実施日	内 容	場 所	参加者数 うち外国人
12月8日	近畿圏を中心に、各自治体における外国にルーツを持つ子どもに対する高校入試での対応に関する情報交換や課題の共有	とよなか国際交流センター	20(5)

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加職員数
4月19日	豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	とよなか国際交流センター	1
5月17日	豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	とよなか国際交流センター	1
6月7日	豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	とよなか国際交流センター	1
7月13日	外国人親子のための進路相談会(しょうない REK)	庄内公民館	1
8月30日	豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	とよなか国際交流センター	1
9月26日	子ども施策推進本部連絡会議 実務担当国会議 子どもの未来応援部会	豊中市役所	1
10月4日	子ども施策推進本部連絡会議 子どもの相談支援ネットワーク会議実務担当国会議	豊中市役所	1
10月7日	子育て・子育て支援ネットワークこども部会 桜塚小学校区連絡部会	桜塚小学校	1
10月11日	豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	とよなか国際交流センター	1
11月1日	こども施策推進本部連絡会議 実務担当国会議 家庭教育部会	豊中市役所	1
2月21日	豊中市在日外国人教育推進協議会 担当国会議	とよなか国際交流センター	1
合 計			11

Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

1. 小学校外国語体験活動事業(豊中市教育委員会受託事業)

豊中市が総合計画で推進している「共に生きる平和な社会の実現を図る」ために、豊中市市民公益活動条例に基づいて豊中市教育委員会と協働で実施している「豊中市立小学校外国語体験活動」提案公募型事業に選定され、受託した。地域に暮らす外国人(ボランティア)が学校と協働し、地域に根差した社会参加を展開していく可能性を模索することを目指した。

<事業内容>

全豊中市立小学校の3年生から6年生を対象に、国際理解教育の一環として外国語に触れ親しむ体験活動を実施した。その上で、次の3点を柱に据えた「共に学び、創造する心豊かなまちづくり」を推進した。

- ①教職員や子どもに地域に暮らす異なる言語、価値観、文化を持つ人との豊かな「であい」を提供した。
- ②その「であい」から、もっと知りたい、つながりたいという動機が芽生え、相互理解を促すためのコミュニケーション能力が双方向に向上するよう取り組んだ。
- ③学校に在籍する外国にルーツを持つ・外国籍の子どもたちの自尊感情が育まれ、マイノリティの子どものエンパワメントになること、と同時にサポーター自身のエンパワメントにもつながる取組をした。

<実施体制>

<ボランティア:53人(20か国・地域)、コーディネーター5人>

今年度実施した小学校外国語体験活動の授業の言語数は21言語にのぼった。小学校外国語体験活動の中で英語の授業を希望された学校では、英語を第1、第2言語又は生活・学習言語としてきたボランティアが中心となって授業を行った。内容についても英語やその他の言語の言語学習だけにとどまらず、それぞれのルーツの国の文化紹介を織り交ぜた形で授業を進めた。ボランティアの国籍や年齢、職業、在留資格、来日経緯、滞日歴、日本語の程度は様々であった。

今年度も昨年度に引き続き外国語体験活動に参加していた外国人ボランティア及び相談サービスの多言語スタッフがコーディネーターとなったことで、ボランティアの課題や悩みにきめ細やかな対応や、相談サービスとの連携を図ることができた。今年度は自然災害やインフルエンザ等による学級閉鎖の影響で授業を中止したり、延期したりしたケースは例年に比べて少なかったものの、2月末からは新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校になり、授業ができなくなった。最終的に108コマ分の授業が実施できず流れてしまったのが残念だった。

また、今年度は大阪市内小学校で使用する社会科の副読本及びデジタル副教材に当事業が取り上げられたり、文部科学省設置の「外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議」の報告書「外国人児童生徒等の教育の充実について(報告)」にも当事業の取組が紹介されたりした。

<実施実績>

ボランティア数	53人
ボランティア活動総時間数	1,133時間
体験した子どもの数(延べ)	約37,400人
ボランティア国籍数	21か国・地域 内訳(中国、韓国、フィリピン、ブラジル、ロシア、ペルー、シンガポール、タイ、エクアドル、ルーマニア、インドネシア、インド、ベトナム、エジプト、ブータン、パキスタン、ウズベキスタン、ドイツ、ニカラグア、ネパール、カナダ)

2. 国際教育推進事業

◆豊中市国際教育推進協議会

文部科学省は2005年8月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008年度までの3か年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ型で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010年度より「豊中市国際教育推進協議会」を立ち上げた。同協議会は2019年度に協議会から連絡会となり、7月8日と2月17日に2回開催された。

◀豊中市国際教育推進連絡会の開催について▶

・連絡会の開催 2回

第1回 7月8日 … 各機関・団体の取組に関する情報交換及び意見交換

第2回 2月17日 … 各機関・団体の取組に関する情報交換及び意見交換

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

◀豊能ブロック協議会構成団体▶ 計23団体

大阪府教育委員会	大阪府在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
箕面市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
能勢町教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
豊能町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能町在日外国人教育研究協議会
池田市進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
豊中市進路保障協議会	(公財)とよなか国際交流協会
箕面市進路保障協議会	(公財)箕面市国際交流協会
豊能郡進路保障協議会	池田市国際交流センター
豊能地区在日外国人教育研究協議会	

◀豊能ブロック「多言語による進路ガイダンス」▶

実施日時	2019年11月2日(土) 13:00~16:00 〔 13:00~14:00 進路説明会 14:00~14:20 先輩体験談 14:30~16:00 個人相談会 〕
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	95人 内訳 〔 児童生徒 18人/保護者 9人/通訳者 13人(6言語) 先輩 1人 /関係者 54人 〕

◆多文化フェスティバル

国際教育の推進を図るため、多文化フェスティバル(帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一堂に集い、つながり、交流を深める機会)を例年開催し、2019年度で15回目を迎えた(2019年度はそれまで共催していた国際教育推進協議会が国際教育推進連絡会となり、豊中市教育委員会後援で開催)。

2016年度より導入している、参加グループ主体の体験型ブースでは、参加グループが主体的に体験型ブースを準備し、当日参加者が各ブースの工作や各国の遊び、楽器、衣装などの体験をした。今年度は市内及び隣接市の他のイベントと日程が重なり、全体の参加者は少なかったものの、韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい、こども母語教室、学習支援「サンプレイス」、「学楽多」といったセンターで活動する事業の他、市内で「多世代でつながる子育て空間」を運営する団欒長屋、大阪府立池田高等学校美術部及び大阪府立東淀川高等学校など、市内・近隣各地で活動している子ども・若者たちや日々サポートしているおとな、ならびにインターン生がブース出店や活動紹介に関わった。今年度は「世界のあいさつビンゴ」を導入した。参加者はビンゴシートをもって各ブースを回り、

体験後に各ブースで世界の言葉で「こんにちは」と書かれたスタンプを押してもらい、「あいさつビンゴ」の完成を目指してもらった。また、外国人保護者の協力を得て、軽食として中国の春餅を提供してもらい、また、参加者への景品としてインドネシアの保護者の協力のもと、ハラール(ムスリムが安心して食べられる)お菓子を提供した。その他、ステージ出演として豊中市こども日本語教室の子どもたちによる詩の朗読、桜井谷小学校の国際教室の子どもたちによる活動成果発表、外国にルーツを持つ子どもによるダンス発表など、昨年度以上に充実した内容となった。

参加団体	豊中市教育委員会学校教育課人権教育係、豊中市在日外国人教育推進協議会、とよなか国際交流協会、大阪府立池田高等学校、大阪府立東淀川高等学校、団欒長屋、豊中市こども日本語教室、豊中市立桜井谷小学校
開催日	11月16日(土) 10時30分～15時00分
場所	とよなか国際交流センター
参加人数	約150人(うち子ども100人)

3. 多文化子どもエンパワメント事業

(1) とよなか JSL 子ども日本語教室

2010年度に始まった「とよなか子ども日本語教室」から日本語指導者グループ「とよなか JSL」が生まれ、2012年度より、とよなか国際交流協会・とよなか JSL・行政の三者協働事業「とよなかこども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステム作りのための事業(「こどもにほんごプロジェクト」)」が3か年計画として始まった。2017年度をもって日本語教室の運営を取りやめることになったが、2019年度は昨年引き続きこれまでの活動を振り返り、まとめの冊子の作成を進めると同時に、その冊子とは別に「とよなか JSL」が独自に教案集を出版したことを記念したシンポジウムを共催で開催した。また、とよなか JSL が2020年度から新たな教室を立ち上げることとなり、開始に向けてのキックオフミーティングを行った。

まとめの冊子編集会議

実施日	2019年9月21日
場所	とよなか国際交流センター
参加者数	10人

教案集出版記念シンポジウム「こどもへの日本語学習支援の取組—実践と活用—」

実施日	2019年9月21日
場所	とよなか国際交流センター
内容	「とよなかこども日本語教室」で日本語指導をしてきた「とよなか JSL」による教案集『学習力を育てる日本語教案集』出版を記念し、「こどもへの日本語学習支援の取組—実践と活用—」と題したシンポジウムを開催
参加者数	51人

新規活動開始に向けたキックオフミーティング

実施日	2020年1月28日
場所	とよなか国際交流センター
参加者数	6人

キックオフミーティングを経て、2020年度4月より新たな教室「学習日本語・こんぱす」を立ち上げることとなった(運営主体:とよなか JSL 協力:とよなか国際交流協会)。

(2) 若者支援 (独立行政法人福祉医療機構【令和元年度社会福祉振興助成事業】)

外国にルーツを持つ人の中でも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、2013年度より様々な講座や活動を行ってきた。2013年度から2015年度までの3年間、多様な活動を展開したが、その活動の成果と課題を踏まえ、2016度からは「わかものたまりば」と「わかもの相談」、日本語学習支援と若者が地域イベントに参加したりする内容を中心にして活動を行ってきた。

2019年度は、昨年度に引き続き、独立行政法人福祉医療機構の助成金を得て、①若者が主体となって地域とつながるイベントづくり(「地域にコミット! 若者お祭りクラブ」)、②高校進学を目指す若者や来日間もない若者を

主な対象とした日本語支援、③外国にルーツを持つ若者のための居場所づくり&相談、④スタッフ研修を定期的に行った。

①では地域のイベントに参加したり、ネパールのお祭り「ダサインパーティー」を開催したりすることで、外国にルーツを持つ若者が主体性を持って活動に参加することを促し、地域とのつながりができるよう努めた。

②日本語サポートでは、日本語学習をサポートするだけでなく、必要に応じて就労や進学に関する情報提供や同行支援を行った。

また、③外国にルーツを持つ若者の居場所づくり&相談では、外国にルーツを持つ若者のコーディネーターならびに相談員を配置し、外国にルーツを持つ若者が安心していられる居場所づくりを行いながら、その中で就労や家族関係、友人関係等の若者が抱える課題や悩みごとを相談できるよう体制を整えた。加えて、これらの活動に関わる職員及びスタッフを対象に定期的な研修を実施し、さらに今後の若者事業をどう展開させていくかを検討するため、これまでの若者事業の振り返りを合宿形式で行った。

①地域にコミット！若者お祭りクラブ

外国にルーツを持つ若者が集まる企画準備会において意見を出し合い、地域住民が主催するイベントに参加した。今年度は社会医療法人北斗さわかみ病院が開催する「One world Festival」に出店し、ドリンクの販売を行った。他、ネパールのお祭り「ダサインパーティー」を、多言語相談スタッフであるネパール人スタッフとネパール人の若者と一緒に関画し、開催した。開催に当たっては地域のネパール料理店の協力を得たほか、地域在住ネパール人によるネパール舞踊や楽器の演奏など行った。

実施日	内 容	場 所	参加者数（うち外国人）	合計 （うち外国人）
5月19日	One world festival	さわかみ病院	若者 2(2)、スタッフ 3(3)	5(5)
10月1日	ダサインパーティー準備会	とよなか国際交流センター	若者 2(2)スタッフ 3(3)	5(5)
10月6日	ダサインパーティー準備会	とよなか国際交流センター	若者 2(2)、スタッフ 2(2)	4(4)
10月31日	ダサインパーティーin 豊中	とよなか国際交流センター	45(41)	45(41)
			合 計	59(55)

②地域でつくる進路のための日本語の学習とサポート

地域に暮らす外国人の若者の中でも、日本語習得の機会が限られると思われる全日制高校以外(定時制高校、通信制高校、夜間中学校など)に通う若者や、就労や就学への意欲はあるものの、日本語能力に自信が持てずに足踏みしている若者について、読み書きを中心とした体系的な日本語の指導を実施した。学習者のニーズのあるテーマ設定や、日々の生活や今後の就労などで役立つ日本語の学習を提案するなど、学習者が興味関心を持って学ぶことが出来るような内容を心掛けた。

また、学習者が関わる他の日本語活動との情報共有や他機関との連携も実施した。

実施日/期間	2019年4月1日～2020年3月31日 毎週日曜日13時～15時
対 象	全日制以外の高校もしくは夜間中学に通う外国にルーツを持つ若者
場 所	とよなか国際交流センター
回 数	27回
内 容 (一例)	2020年春に高校入学を目指す若者とともに日本語の勉強をした。勉強の合間にも、日本の学校のシステムについても説明をしながら、会話の演習を行った。また、本人たちの希望を確認しながら、進学に関わる情報を探した。 【第14回 2019年9月8日】
参加者数	若者 のべ44人（うち外国人44人） 講師 のべ32人

※ 回数について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5回中止となった。当初予定は32回開催。

③外国にルーツを持つ若者の居場所事業&外国にルーツ持つ若者の相談事業

外国にルーツを持つ若者の居場所事業「若者のたまりば」において、食事作りや対話の活動を通じて日本語を使った交流や社会体験活動等を行った。活動に当たっては安心・安全が保障された場で、同じ外国にルーツを持つ仲間(ピア)と出会い、相互に交流できるような場づくりを行った。

また活動の中に相談員を配置することで、居場所の中で出てきた悩みや課題、問題をよりキャッチできるような体制を整えた。相談においては、必要に応じて情報提供や同行支援等を行った。

実施日/期間	2019年4月1日～2020年3月31日 毎週日曜日 17時～20時
対象	外国にルーツを持つ若者
場所	とよなか国際交流センター
回数	27回
内容	若者が集まり、料理やゲームなどを通して居場所作りを行った。
参加者数	若者 65人 (うち外国人 65人)
	講師 69人 (うち外国人 29人)

※ 回数について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5回中止となった。当初予定は32回開催。

④若者スタッフ研修

本事業を実施するに当たり、必要とされる知識を身に付け、より充実した支援を実現するための研修を行った。

研修1：スーパービジョン

実施日/期間	2019年4月1日～2020年3月31日
対象	若者の事業に関わる外国にルーツを持つ若者、ボランティア、コーディネーター、協会職員
場所	とよなか国際交流センター
回数	40回
スーパーバイザー	吉嶋かおり(臨床心理士、とよなか国際交流協会多言語相談サービス相談員) 山内志保(臨床心理士)
参加者数	参加者 のべ64人 (うち外国人 18人)
	講師 のべ40人

研修2：対人援助ワークショップ ※こども事業の研修と合同で実施

実施日	①2019年9月29日 ②2019年10月27日
対象	若者の事業に関わる外国にルーツを持つ若者、ボランティア、コーディネーター、協会職員
場所	とよなか国際交流センター
講師	①協会職員、②栗本敦子さん(えふらぼ)
参加者数	参加者 のべ9人 (うち外国人 3人)
	講師 のべ2人

研修3：若者事業ふりかえり合宿

実施日	2020年2月2日、3日
対象	若者の事業に関わる外国にルーツを持つ若者、ボランティア、コーディネーター、協会職員
場所	ブックカフェ Sol(京都市南区東九条)
参加者数	講師 のべ4人、参加者のべ8人 (うち外国人 6人)

<その他イベント>

実施日	内 容	場 所	参加者数 (うち外国人)	合計 (うち外国人)
7月20日	子どもの夢応援ネットワーク &交流会「いま、自分なにしてる?~10代&20代の本音とタテマエ~」	箕面市国際交流センター	若者 2(2) スタッフ 4(2)	6(4)
11月24日	ネパールの若者の帰国報告会	とよなか国際交流センター	若者 3(3) スタッフ 3(1)	6(4)

(3) てーげーコミュニケーションズ(多文化エンパワメント・メディアプロジェクト)

2016年度、それまでの多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト「てーげー部」の活動を、色々な活動のニッチな部分に入り込んだ映像制作やメディア活動を行う集まり「てーげーコミュニケーションズ」として再編成し、それ以来、継続して活動を行っている。参加するボランティアスタッフが全員多忙につき、新たな活動を展開することはできなかったが、昨年度に引き続きこれまで作成したDVDを他団体の視察受け入れ時やイベントにおいて広報・宣伝し、販売促進を行った。2018年、2019年度と2年続けて実質的に活動を行うことが出来なかったため、今後の活動の方向性について再検討しつつ、引き続き単発のイベントなど参加できるものには積極的に参加していきたい。

2019年度DVD販売実績

DVDタイトル	販売数(枚)
「ナニジン?ーオートモダチ作戦」	2
「ぼくと沖縄とみんな」	2
合 計	4

(4)生活困窮者自立支援事業 子ども学習広場「学楽多」

2018年度に引き続き、豊中市くらし支援課の委託を受けて、生活困窮世帯の子どもの就学・就労のための学習支援事業「子ども学習広場『学楽多(がらくた)』」を行った。

学習支援はとよなか国際交流センター(毎週金曜17:00~19:00)としょうないガダバ(毎週火曜16:30~21:00)の市内2か所で行ってきた。2019年度はしょうないガダバでは4月9日、センターでは4月12日より活動がスタートしている。今年度の「学楽多」は2か所を合わせて88回行い、教科学習にとどまらず料理活動、カードゲーム遊び、工作等によって、仲間作りとともに多様な学びができた。特に、2019年度はとよなか国際交流センターしょうないガダバ合同のお楽しみ会を3回実施し、学楽多の参加者の親睦を深めた。また、子どもの数も増えて活気ある活動になってきた。年間の子どもの参加人数はのべ962人、ボランティアがのべ301人による学習支援を行った。また、毎年恒例の多文化フェスティバルへのブース参加等を開催し有意義な活動となった。一方で、保護者の生活相談や教育相談も数多く行い、支援者の中で課題を共有し課題解決に向けた取組もできた。

【実施回数と年間のべ人数】

場 所	実施曜日	実施時間	参加のべ人数(うち外国人)	のべ回数
国際交流センター	金曜 (4/12~3/13)	17:00~19:00	子ども 558(123)、ボランティア 186(48)	47回
しょうないガダバ	火曜 (4/9~2/18)	18:00~21:00	子ども 404(26)、ボランティア 115(41)	41回
合 計			子ども 962(149)、ボランティア 301(89)	88回

(5) ネットワーク事業への参加

① 子どもの夢応援ネットワーク

外国にルーツがあるなど、マイノリティ性をもつ子ども・若者の支援に関わっている団体、個人で作られたネットワーク。2017年7月から活動を開始しており、定期的な情報交換、シンポジウムなどを実施している。

シンポジウム等については、文部科学省の外国人児童・生徒への教育を担当する部署の課長を招いたシンポジウム(5月18日)や外国にルーツをもつ若者による発信と参加者間の交流(7月20日)、若者支援の実践に取り組む現場からの発信と参加者間による交流など、現場レベルと政策レベルの両方を視野に入れた取組となった。また、大阪市教育委員会からは市教育委員会主催のシンポジウムの企画及び講師を受けるなど、関係機関とのつながりも広がった。

[定期的な情報交換]

実施日	4月18日、5月23日、6月27日、8月8日、10月24日、10月31日、11月28日
-----	---

[シンポジウム]

実施日	参加者数	開催場所	開催内容
5月18日	42人(11人)	すてっぷホール	国全体で取り組む多文化共生教育について
7月20日	45人(15人)	Comme カフェ	「いま自分、何してる? 10代&20代の本音とタテマエ」
10月31日	32人(7人)	大阪市生涯学習センター	「シンポジウム 多文化共生のまちづくり」 (主催:大阪市教委)の企画及び講師
12月15日	52人(15人)	アネックスパル法円坂	ともにいきるシンポ part3 -多民族社会日本のこれから-

② 外国人の子ども白書

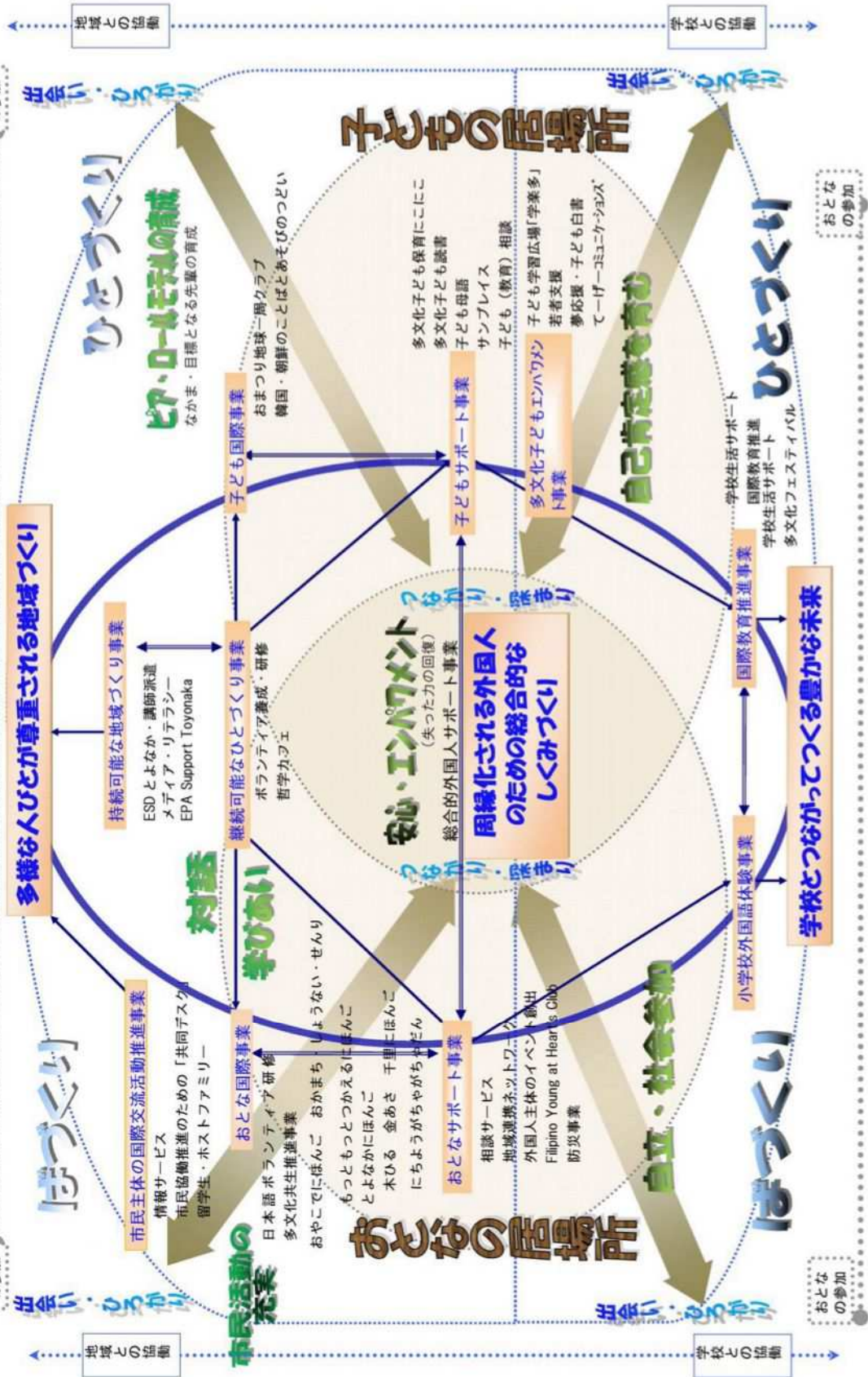
2017年4月、「外国人の子ども白書」が出版されたことを受け、実行委員会形式で2017年6月にシンポジウム「大阪発:外国にルーツをもつ子どもたちの現状と課題 権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から」を実施した(事務局:とよなか国際交流協会)。その後、大阪版の外国人の子ども白書の作成に向けて、検討を行っている。なお、2019年度については検討及び作業を進めることができなかった。改めて仕切り直しを行いたい。

2019年度

公益財団法人とよなか国際交流協会事業体系

公益目的事業：地域の市民の主体的な参加による、
人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出する事業

0 は協会専ら実施している
総合的外国人支援事業の
範囲をします。
子どもの
参加



IV. 施設管理受託事業

◆とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数	53,991 人	前年度比	6,914 人	減
全利用者のうち外国人の利用者数	23,332 人	前年度比	3,813 人	減
年間貸室件数	5,583 件	前年度比	323 件	減
国際交流目的での貸室件数	4,653 件	全貸室における比率	83	%

◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務(豊中市からの受託)の施設貸出業務について

- ① 2019年度(2019年4月～2020年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率
(3/9(月)～3/31(火)は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、貸室の利用は休止。)

	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	26	406	3,725	1,446
5月	26	477	4,556	2,118
6月	26	498	4,876	2,084
7月	26	479	4,787	1,951
8月	27	654	6,795	2,216
9月	26	526	7,731	3,586
10月	25	502	4,538	2,008
11月	26	560	5,141	2,263
12月	24	467	3,909	1,676
1月	24	446	4,007	1,808
2月	25	464	3,748	2,142
3月	7	104	178	34
合計	288	5,583	53,991	23,332

- ② 2019年度(2019年4月～2020年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率(単位 上段:件、下段:%)
(3/9(月)～3/31(火)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、貸室の利用は休止。)

2019年度(2019年4月～2020年3月)月別・部屋別使用件数・使用率														
(単位 上段:件、下段:%) (3/9(月)～3/31(火)の間、新型コロナウイルス肺炎感染拡大防止の為休館)														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	39	47	48	45	55	46	50	52	47	44	47	12	532
	使用率	50.0%	60.3%	61.5%	57.7%	67.9%	59.0%	66.7%	66.7%	65.3%	61.1%	62.7%	57.1%	61.6%
会議室2A	件数	37	43	35	37	54	40	40	43	38	36	38	9	450
	使用率	47.4%	55.1%	44.9%	47.4%	66.7%	51.3%	53.3%	55.1%	52.8%	50.0%	50.7%	42.9%	52.1%
会議室2B	件数	37	42	40	37	51	38	38	43	39	31	35	8	439
	使用率	47.4%	53.8%	51.3%	47.4%	63.0%	48.7%	50.7%	55.1%	54.2%	43.1%	46.7%	38.1%	50.8%
会議室2C	件数	44	52	42	45	54	47	47	54	45	41	45	9	525
	使用率	56.4%	66.7%	53.8%	57.7%	66.7%	60.3%	62.7%	69.2%	62.5%	56.9%	60.0%	42.9%	60.8%
会議室3	件数	36	44	48	34	47	40	39	42	34	40	35	10	449
	使用率	46.2%	56.4%	61.5%	43.6%	58.0%	51.3%	52.0%	53.8%	47.2%	55.6%	46.7%	47.6%	52.0%
会議室4	件数	50	62	61	55	64	62	61	63	52	53	42	13	638
	使用率	64.1%	79.5%	78.2%	70.5%	79.0%	79.5%	81.3%	80.8%	72.2%	73.6%	56.0%	61.9%	73.8%
会議室5	件数	58	64	60	56	66	62	54	60	54	55	49	11	649
	使用率	74.4%	82.1%	76.9%	71.8%	81.5%	79.5%	72.0%	76.9%	75.0%	76.4%	65.3%	52.4%	75.1%
料理室	件数	27	29	37	35	51	31	37	40	40	32	39	5	403
	使用率	34.6%	37.2%	47.4%	44.9%	63.0%	39.7%	49.3%	51.3%	55.6%	44.4%	52.0%	23.8%	46.6%
音康ルーム	件数	40	44	57	45	54	47	48	46	36	38	47	9	511
	使用率	51.3%	56.4%	73.1%	57.7%	66.7%	60.3%	64.0%	59.0%	50.0%	52.8%	62.7%	42.9%	59.1%
和室	件数	20	21	25	23	43	32	30	30	28	20	18	10	300
	使用率	25.6%	26.9%	32.1%	29.5%	53.1%	41.0%	40.0%	38.5%	38.9%	27.8%	24.0%	47.6%	34.7%
ブレイルーム1	件数	11	17	20	25	43	26	23	26	26	28	28	2	275
	使用率	14.1%	21.8%	25.6%	32.1%	53.1%	33.3%	30.7%	33.3%	36.1%	38.9%	37.3%	9.5%	31.8%
ブレイルーム2A	件数	5	8	12	18	38	27	17	32	11	15	23	4	210
	使用率	6.4%	10.3%	15.4%	23.1%	46.9%	34.6%	22.7%	41.0%	15.3%	20.8%	30.7%	19.0%	24.3%
ブレイルーム2B	件数	2	4	13	24	34	28	18	29	17	13	18	2	202
	使用率	2.6%	5.1%	16.7%	30.8%	42.0%	35.9%	24.0%	37.2%	23.6%	18.1%	24.0%	9.5%	23.4%
総件数		406	477	498	479	654	526	502	560	467	446	464	104	5583
開館日数		26	26	26	26	27	26	25	26	24	24	25	7	288
使用率		40.0%	47.0%	49.1%	47.2%	62.1%	51.9%	51.5%	55.2%	49.9%	47.6%	47.6%	38.1%	49.7%

③ 2019年度(2019年4月～2020年3月) 国際交流目的 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率
 (3/9(月)～3/31(火)は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、貸室の利用は休止。) (単位 上段:件、下段:%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	34	45	45	41	45	44	42	49	37	37	40	11	470
	使用率	43.6%	57.7%	57.7%	52.6%	55.6%	56.4%	56.0%	62.8%	51.4%	51.4%	53.3%	52.4%	54.4%
会議室2A	件数	33	40	29	33	54	33	36	41	35	36	32	7	409
	使用率	42.3%	51.3%	37.2%	42.3%	66.7%	42.3%	48.0%	52.6%	48.6%	50.0%	42.7%	33.3%	47.3%
会議室2B	件数	34	39	33	33	50	35	36	38	36	27	30	7	398
	使用率	43.6%	50.0%	42.3%	42.3%	61.7%	44.9%	48.0%	48.7%	50.0%	37.5%	40.0%	33.3%	46.1%
会議室2C	件数	40	46	33	38	53	40	41	44	38	34	37	8	452
	使用率	51.3%	59.0%	42.3%	48.7%	65.4%	51.3%	54.7%	56.4%	52.8%	47.2%	49.3%	38.1%	52.3%
会議室3	件数	32	41	46	29	46	33	37	35	32	34	29	8	402
	使用率	41.0%	52.6%	59.0%	37.2%	56.8%	42.3%	49.3%	44.9%	44.4%	47.2%	38.7%	38.1%	46.5%
会議室4	件数	49	61	61	53	64	60	61	63	51	51	42	13	629
	使用率	62.8%	78.2%	78.2%	67.9%	79.0%	76.9%	81.3%	80.8%	70.8%	70.8%	56.0%	61.9%	72.8%
会議室5	件数	54	60	57	53	61	58	47	56	52	50	46	11	605
	使用率	69.2%	76.9%	73.1%	67.9%	75.3%	74.4%	62.7%	71.8%	72.2%	69.4%	61.3%	52.4%	70.0%
料理室	件数	24	26	33	32	49	30	32	36	37	28	26	4	357
	使用率	30.8%	33.3%	42.3%	41.0%	60.5%	38.5%	42.7%	46.2%	51.4%	38.9%	34.7%	19.0%	41.3%
音健ルーム	件数	22	23	33	24	37	30	29	27	17	24	26	3	295
	使用率	28.2%	29.5%	42.3%	30.8%	45.7%	38.5%	38.7%	34.6%	23.6%	33.3%	34.7%	14.3%	34.1%
和室	件数	20	21	25	23	42	30	26	30	22	19	17	8	283
	使用率	25.6%	26.9%	32.1%	29.5%	51.9%	38.5%	34.7%	38.5%	30.6%	26.4%	22.7%	38.1%	32.8%
プレイルーム1	件数	10	17	20	18	41	22	21	22	18	24	22	2	237
	使用率	12.8%	21.8%	25.6%	23.1%	50.6%	28.2%	28.0%	28.2%	25.0%	33.3%	29.3%	9.5%	27.4%
プレイルーム2A	件数	0	1	1	5	28	6	3	3	3	2	2	2	56
	使用率	0.0%	1.3%	1.3%	6.4%	34.6%	7.7%	4.0%	3.8%	4.2%	2.8%	2.7%	9.5%	6.5%
プレイルーム2B	件数	0	1	1	5	28	6	3	3	4	2	2	2	57
	使用率	0.0%	1.3%	1.3%	6.4%	34.6%	7.7%	4.0%	3.8%	5.6%	2.8%	2.7%	9.5%	6.6%
総件数		352	421	417	387	598	427	414	447	382	368	351	86	4650
開館日数		26	26	26	26	27	26	25	26	24	24	25	7	288
使用率		34.7%	41.5%	41.1%	38.2%	56.8%	42.1%	42.5%	44.1%	40.8%	39.3%	36.0%	31.5%	41.4%

④ 使用料の収入の状況:とよなか国際交流センター使用料
 (平成31年(2019年)4月～令和2年(2020年)3月納付分) 計 2,442,480円

2019年度(2019年4月～2020年3月)安全管理の状況

	①窓の開閉	②パーティーの 開閉事故	③電球取り替え時の 事故	④その他の事故	事故があった場合の日時・ 状況・内容等
4月	無し	無し	無し	無し	
5月	無し	無し	無し	無し	
6月	無し	無し	無し	無し	
7月	無し	無し	無し	無し	
8月	無し	無し	無し	無し	
9月	無し	無し	無し	無し	
10月	無し	無し	無し	無し	
11月	無し	無し	無し	無し	
12月	無し	無し	無し	無し	
1月	無し	無し	無し	無し	
2月	無し	無し	無し	無し	
3月	無し	無し	無し	無し	

V. その他

◆視察受け入れ等

	日時	受け入れ	人数
1	6月11日	関西大学 草郷ゼミ	8
2	6月23日	八尾市教育委員会	4
3	7月16日	仙台観光国際協会ボランティア	2
4	7月23日	奈良県吉野町総合政策課	3
5	7月28日	大阪府立千里高校 SGH	30
6	8月20日	近畿夜間中学連絡協議会	12
7	9月27日	豊中市2年目職員	6
8	10月11日	大阪府立福井高校	35
9	10月24日	大阪女学院大学	40
10	10月29日	豊中市立東豊中小学校	84
11	11月4日	豊中市産業振興課	20
12	11月22日	豊中市立克明小学校	7
13	11月19日	大阪府立東淀川高校	18
14	1月29日	豊中市立蛸池小学校	80
15	2月22日	いずみ識字ボランティアの会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
合 計			349人

◆「地域体験学習 CUL(カル)」職場体験

豊中市立中学校生徒の受け入れ：(豊中市立第二中学校)11月12日、11月14日に2人(のべ4人)

他市の中学校生徒の受け入れ：(箕面市立第四中学校)11月24日、11月25日に1人(のべ2人)

◆事業評価会

市民参加型の事業評価会を2月29日に開催し、ボランティアや職員が今年度の成果や課題について発表した(参加者49人)。昨年同様に午前の部と午後の部と二部制で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前のみに変更して開催した。

◆新春のつどい

1月25日に「新春のつどい」を開催し、センター・協会事業の紹介、関係者間の交流を行った。センター・協会事業の関係者以外にも市役所職員や議員(国、府、市)、駐日領事らの参加があった。また、実施にあたって、近隣の事業者からの協力を得ることができた。

◆館内ワールドクイズ

施設壁面活用の一環として、館内随所に各国の文化に関するクイズ問題を掲示。事務所で回答用紙を受け取ってクイズラリー形式で回答を全て集めると、オリジナルポストカードを1枚プレゼントする企画として常設している。

◆子ども服のリサイクルコーナー

地域における子育て支援の一環として、事務所前に子ども服・用品のリサイクルコーナーを常時設置している。不要になった子ども服を持参して自ら陳列してもらい、必要な人は無料で持ち帰ることができるコーナーとして、一般市民、施設利用者から好評を得ている。

◆その他会議等の参加・協力

豊中市関係会議(26団体)

克明小学校区連絡会	大池小学校区連絡会	豊中市子ども若者自立支援部会
みんなあつまれわくわくランド実行委員会	識字・日本語豊中連絡会	地域福祉ネットワーク会議
豊中市地域就労支援センター	豊中市介護保険事業者連絡会	豊中市子ども・若者支援協議会
豊中市国際教育推進協議会	豊中市子ども施策推進本部連絡会議	豊中市子ども相談支援ネットワーク会議
豊中市家庭教育力向上会議	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市DV防止ネットワーク会議
豊中市教職員組合	豊中市人権相談機関ネットワーク会議	豊中市子ども読書活動連絡会
豊中市保健師会	豊中市地域社会福祉活動計画推進委員会	豊中市障害者差別解消支援地域協議会
豊中市南部地域活性化ラウンドテーブル	とよなか市民環境会議	人権関係施設連絡会議
豊中市防災会議	豊中市協働推進本部会議幹事会	

その他(18 団体)(順不同)

大阪大学大学院臨床哲学研究科	国際交流協会ネットワーク会議おおさか	大阪府自治体国際化推進連絡会議
豊中青年会議所	豊中市民生委員・児童委員協議会(四地区)	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
大阪大学未来戦略機構	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
関西子どもの権利条約フォーラム実行委員会	全国在日外国人教育研究協議会(全外教) 大阪大会(2015年)実行委員会	大阪弁護士会
「ひと・まち・であい 夏まつり」実行委員会	大阪府人権協会	国際交流の会とよなか(TIFA)
大阪府行政書士会豊能支部	近畿税理士会	大阪出入国在留管理局

◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会に参加(もしくは主催)した。(協会主催の研修会は(主)印で太字/自己啓発支援については(自)印で太字) 14 回

実施日	内容(主催)
4月21日	(自)「Visual Practice-1 day～グラフィックファシリテーション基礎編」主催:(株)ヒューマンエイド
4月26日	(主)「在留資格について」
6月21日	(主)「コミュニティ・トレモ研修会」
7月25日	外国人労働者の雇用について 主催:豊中市商工会議所
7月27日	「入管法改定で何が変わる?」主催:国際交流の会とよなか
7月30日	「多民族共生人権研究集会」主催:NPO 法人多民族共生人権教育センター
9月18日 ～19日	(主)先進地域視察研修① 東京視察(ilona 親子の縁側、大久保図書館、多文化フリースクール、エベレストインターナショナルスクール)
10月10日	(主)先進地域視察研修② 知立市視察(知立市役所、知立東小学校(杜若))
11月20日	(主)先進地域視察研修③ 出雲市視察(出雲市教委、(株)アバンセ、NPO 法人エスペランサ)
11月21日 ～22日	「多文化共生先進取組事例「体験塾」in 岡山」主催:一般財団法人自治体国際化協会(クレア)
11月26日	「外国人労働者雇用啓発セミナー」主催:大阪労働局/労働基準監督署/ハローワーク
12月16日	「配賦計算の見直し」主催:公益法人協会
2月14日	(主)「多文化共生社会の実現に向けて～改定出入国管理法の施行から1年。現状を知り、地域社会と外国人の共生を考えるために～」
3月11日	(主)職員全体研修 2019年度の振り返りと、2020年度に向けて
子ども・若者支援事業担当者のためのスーパービジョン(スーパーバイザー:吉嶋かおりさん(臨床心理士))	
5月28日、6月25日、7月23日、8月27日、9月17日、10月29日、11月26日、12月16日、1月14日、2月25日、3月17日	

VI. 理事会開催状況

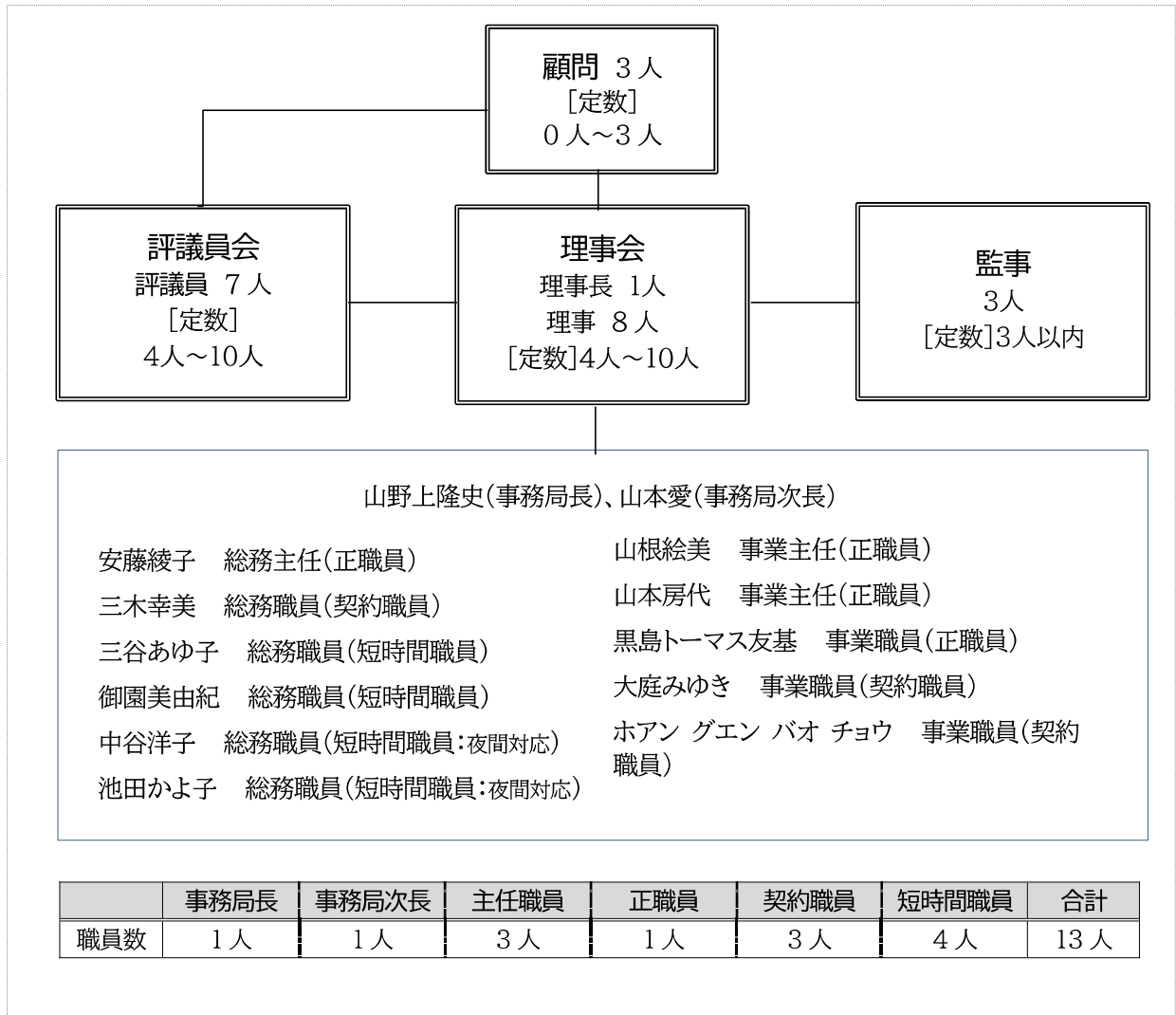
開催日時・場所	案件
第1回理事会 2019年 5月21日(火)18時～ とよなか国際交流センター会 議室4	第1号議案 公益財団法人とよなか国際国流協会 2018年度事業報告及び計算書類等の承認について 第2号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2019年度補正予算について 第3号議案 変更認定申請について 第4号議案 定款の変更について 第5号議案 就業規則の変更について 第6号議案 クレジットカードの利用規定について 第7号議案 常務理事の変更について 第8号議案 定時評議員会の招集について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第2回理事会 2019年 10月25日(金)18時～ とよなか国際交流センター会 議室1	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2019年度補正予算について 第2号議案 特定資産準備資金(多文化エンバワメント事業積立資産)について 第3号議案 就業規則の変更について 第4号議案 災害時等における指定管理施設利用の協力に関する協定書について 第5号議案 賛助会員規定の変更について 第6号議案 給与規則の変更について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第3回理事会 2020年 3月5日(木)18時～ とよなか国際交流センター会 議室3	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2020年度事業計画及び予算案について 第2号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告

VII. 評議員会開催状況

開催日時	案件
第1回評議員会 2019年 6月7日(金)18時～ とよなか国際交流センター 会議室2C	第1号議案 2018年度事業報告及び計算書類等の承認について 第2号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2019年度補正予算について 第3号議案 変更認定申請について 第4号議案 定款の変更について 第5号議案 就業規則の変更について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況確認
第2回評議員会 2020年 3月17日(火)18時～ とよなか国際交流センター 会議室4	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2020年度事業計画及び予算案について 第2号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告

VIII. 2020年組織体制

※2020年4月1日現在



【役員等名簿】

2020年4月1日現在

役職名	名前	役職名	名前
理事長	松本 康之	評議員長	園崎 寿子
理事	中野 義澄	評議員	井関 雅子
理事	榎井 縁	評議員	宋 悟
理事	服部 圭子	評議員	野崎 志帆
理事	徳弘 博子	評議員	窪 誠
理事	大島 昭子	評議員	村上 深雪
理事	桒高 喜秋	評議員	大家 幸子
理事	金 相 文		
常務理事	山野上隆史		
監事	種田ゆみこ		
監事	呉 幸 哲		
監事	栗原 貴子		